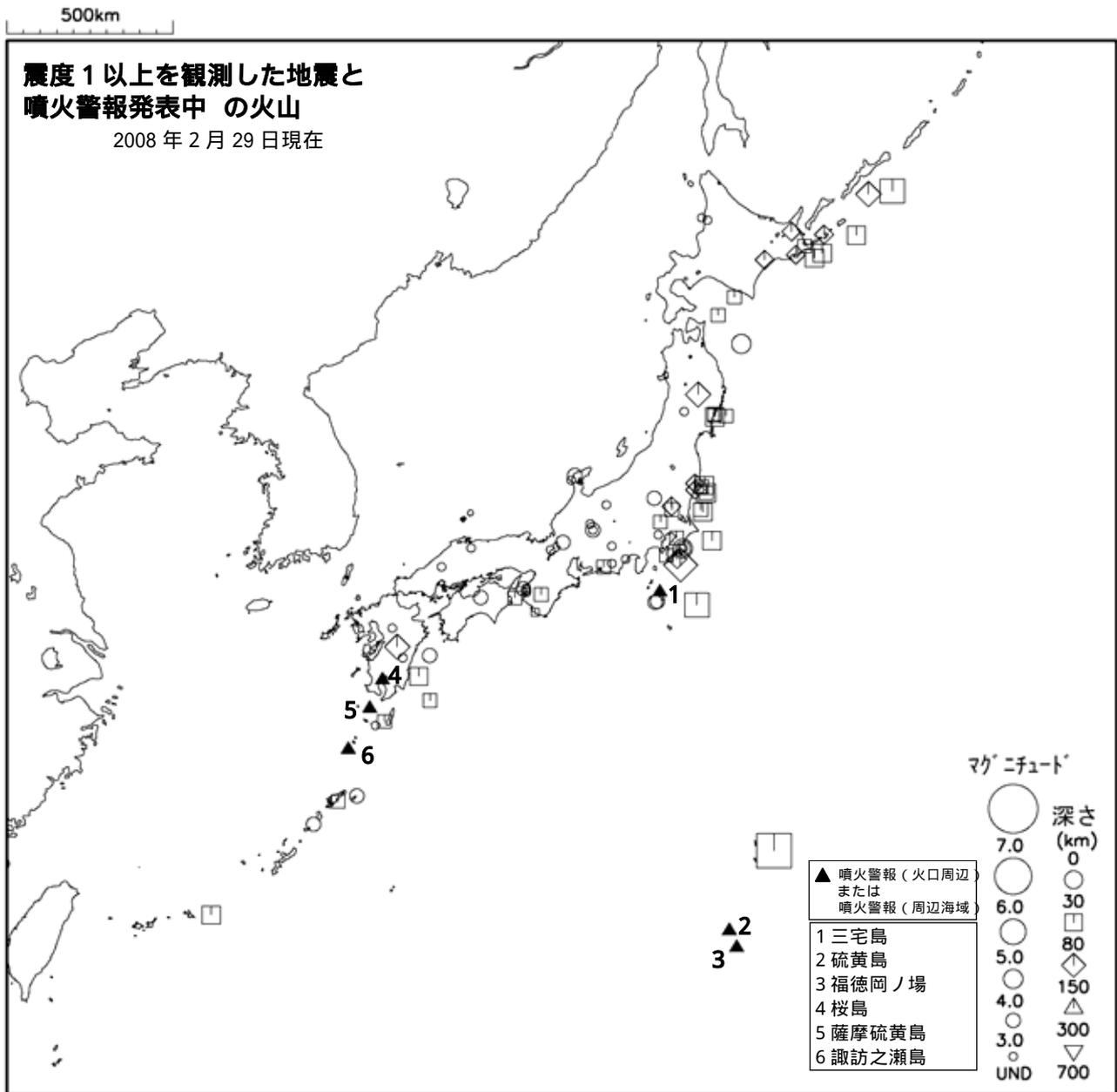


平成 20 年 2 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

February 2008



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所^注から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け^注、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注¹ 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注² 平成 20 年 2 月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。

本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード
UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。
N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1
STR：走向（°：北から時計周り）
SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）
P：P 軸（圧力軸）
N：N 軸（中立軸）
AZM：方位角（°：北から時計周り）
Mw：モーメントマグニチュード

Depth：深さ（km）
NP2：節面 2
DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）
T：T 軸（張力軸）
PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）
Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。なお、震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報(カタログ編)(CD-ROM)」「地震年報(CD-ROM)」を参照のこと。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報(カタログ編)(CD-ROM)」「火山報告(CD-ROM)」を参照のこと。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000(行政界・海岸線)』、『数値地図 25000(地図画像)』、『数値地図 50000(地図画像)』、『数値地図 10mメッシュ(火山標高)』、『数値地図 50mメッシュ(標高)』、『数値地図 250mメッシュ(標高)』を使用したものである(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」(東京大学出版会, 1991)を使用した。

・図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, EOS Trans. Amer. Geophys. U., vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

目 次

日本及びその周辺で発生した主な地震	1
東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	12
日本の主な火山活動	21
世界の主な地震	37
世界の主な火山活動	39
付表	
1．震度 1 以上を観測した地震の表	40
2．過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	49
3．日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	50

日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等(注 4)	掲載 ページ
1	2 10 09 37	千葉県南東沖	5.0	・ ・ ・ ・	3 : 千葉県 館山市長須賀 ほか 1 都 2 県 5 地点	6
2	2 10 23 57	千葉県南部	4.2	・ ・ ・ ・	3 : 千葉県 大多喜町大多喜*、勝浦市新官*	7
3	2 27 15 54	父島近海	6.6	M ・ ・ ・	3 : 東京都 小笠原村父島三日月山、小笠原村父島西町	8

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。

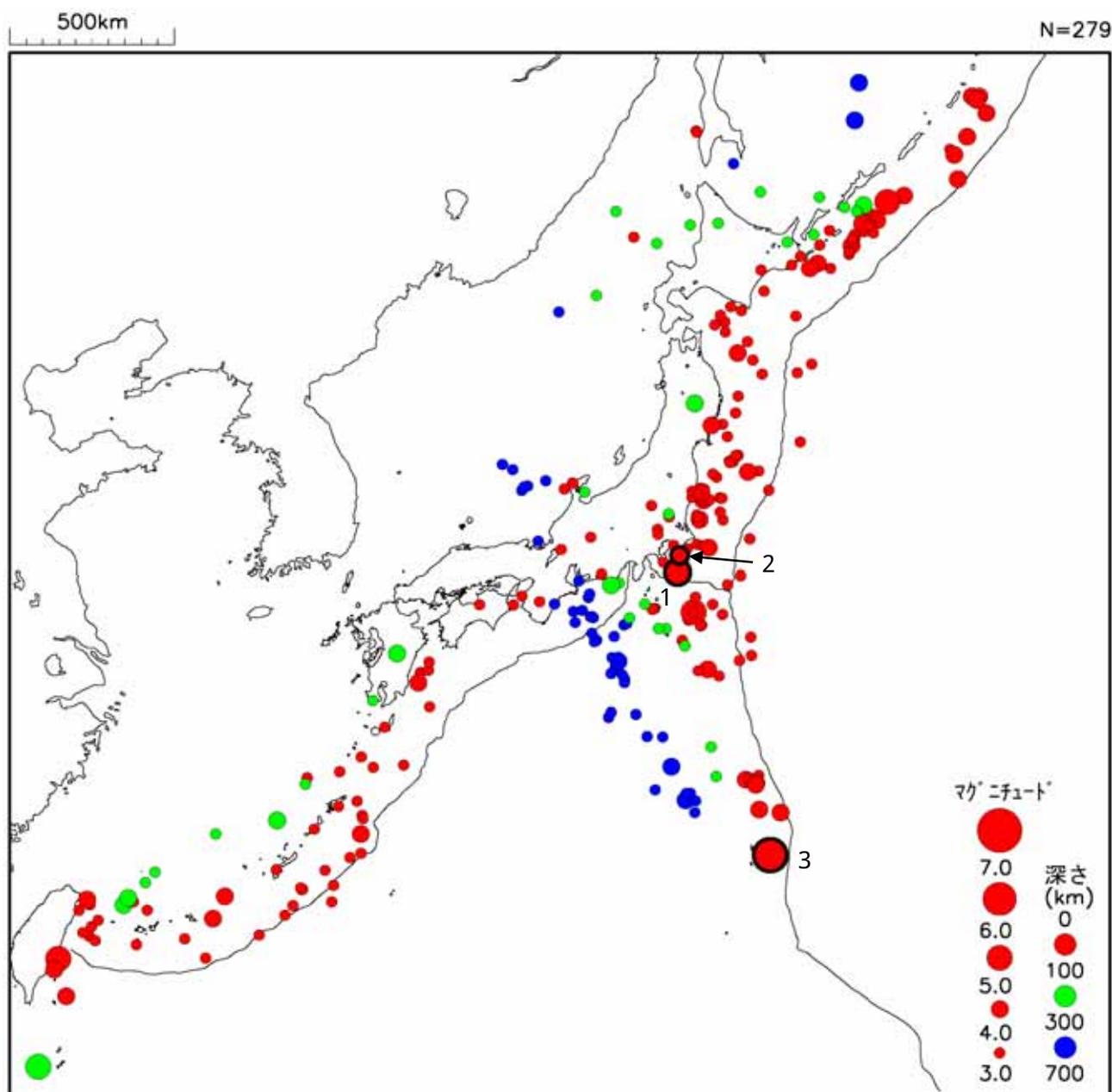
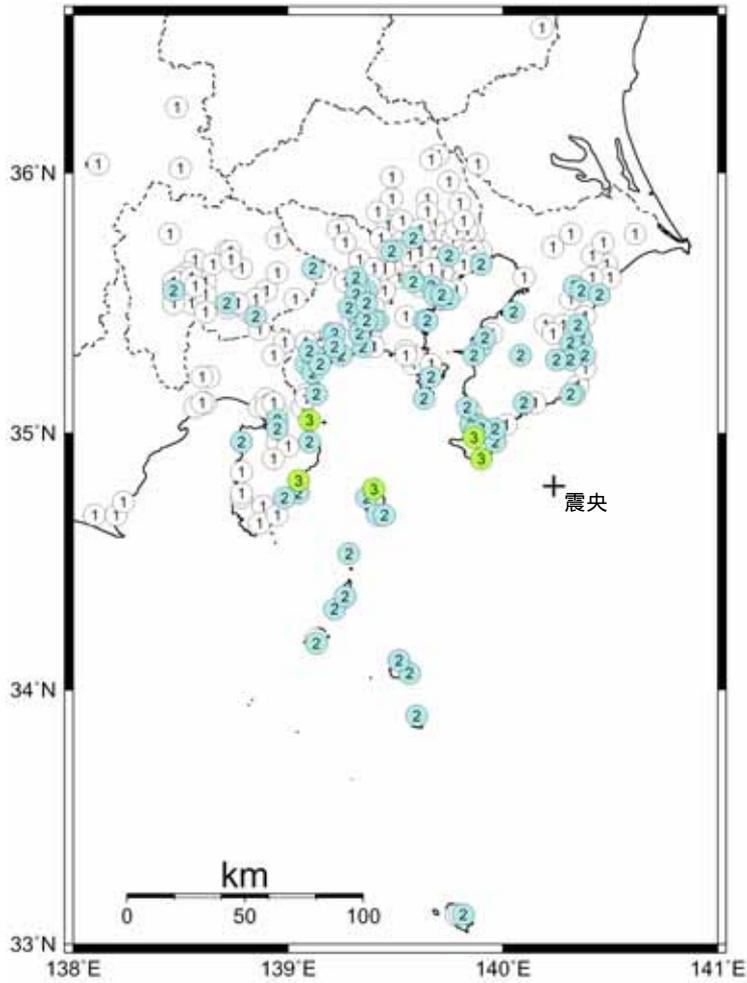


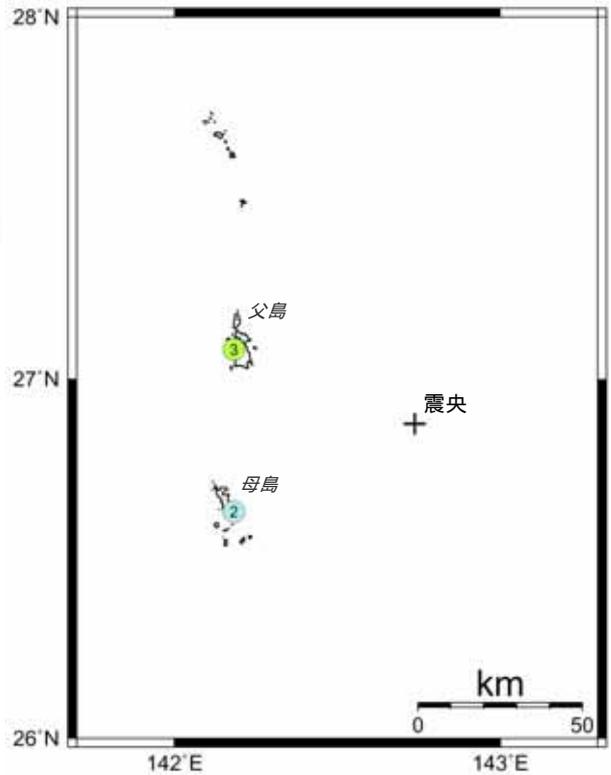
図 1 2008 年 2 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

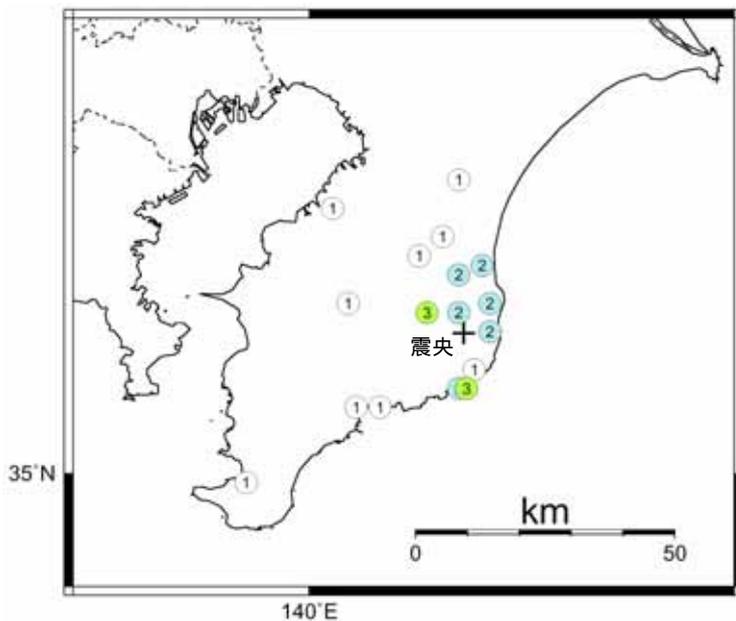
1 2月10日09時37分 千葉県南東沖
(M5.0, 深さ95km, 最大震度3)



3 2月27日15時54分 父島近海
(M6.6, 深さ38km, 最大震度3)



2 2月10日23時57分 千葉県南部
(M4.2, 深さ16km, 最大震度3)



北海道地方の地震活動

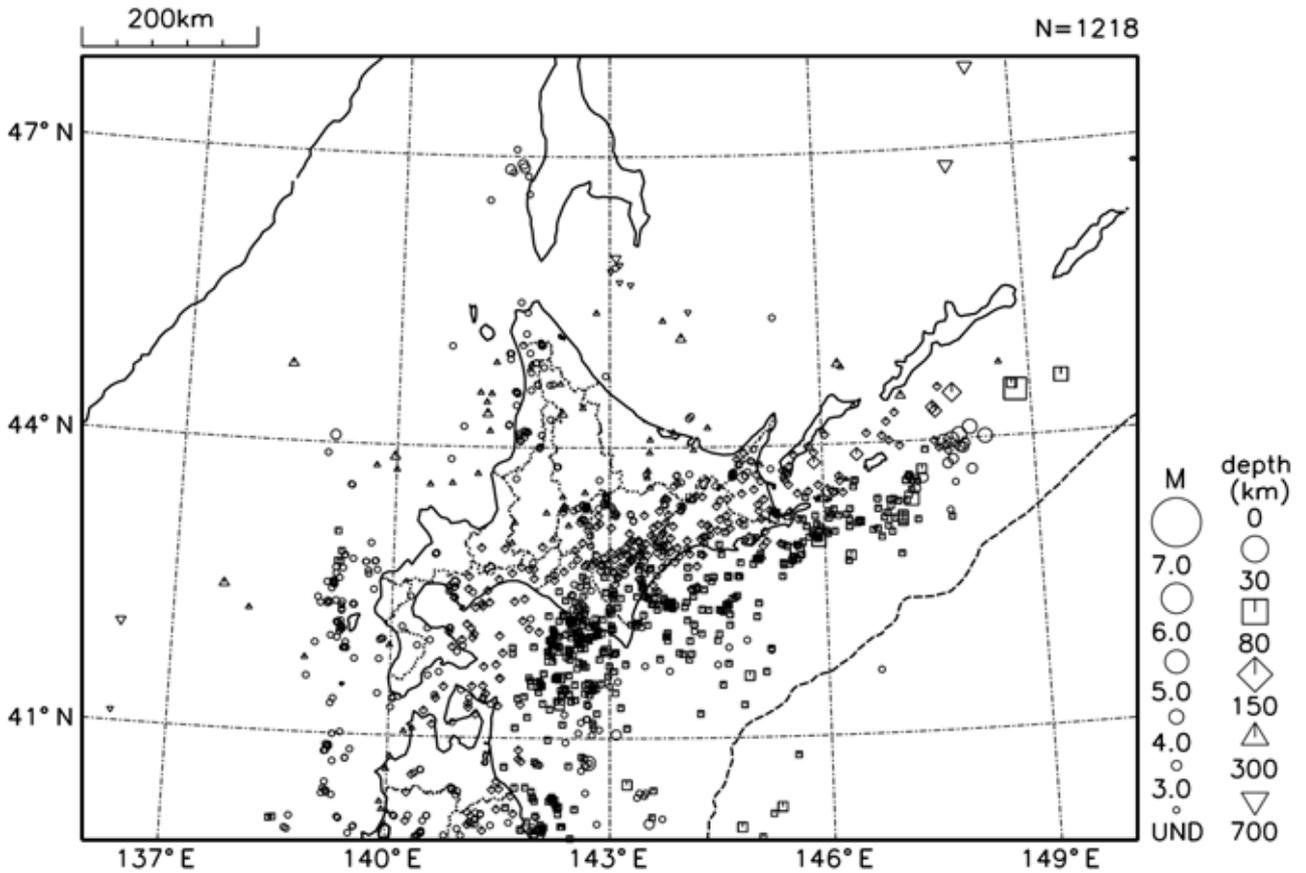


図3 北海道地方の震央分布図（2008年2月1日～2月29日）

[概況]

2月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（1月も14回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

東北地方の地震活動

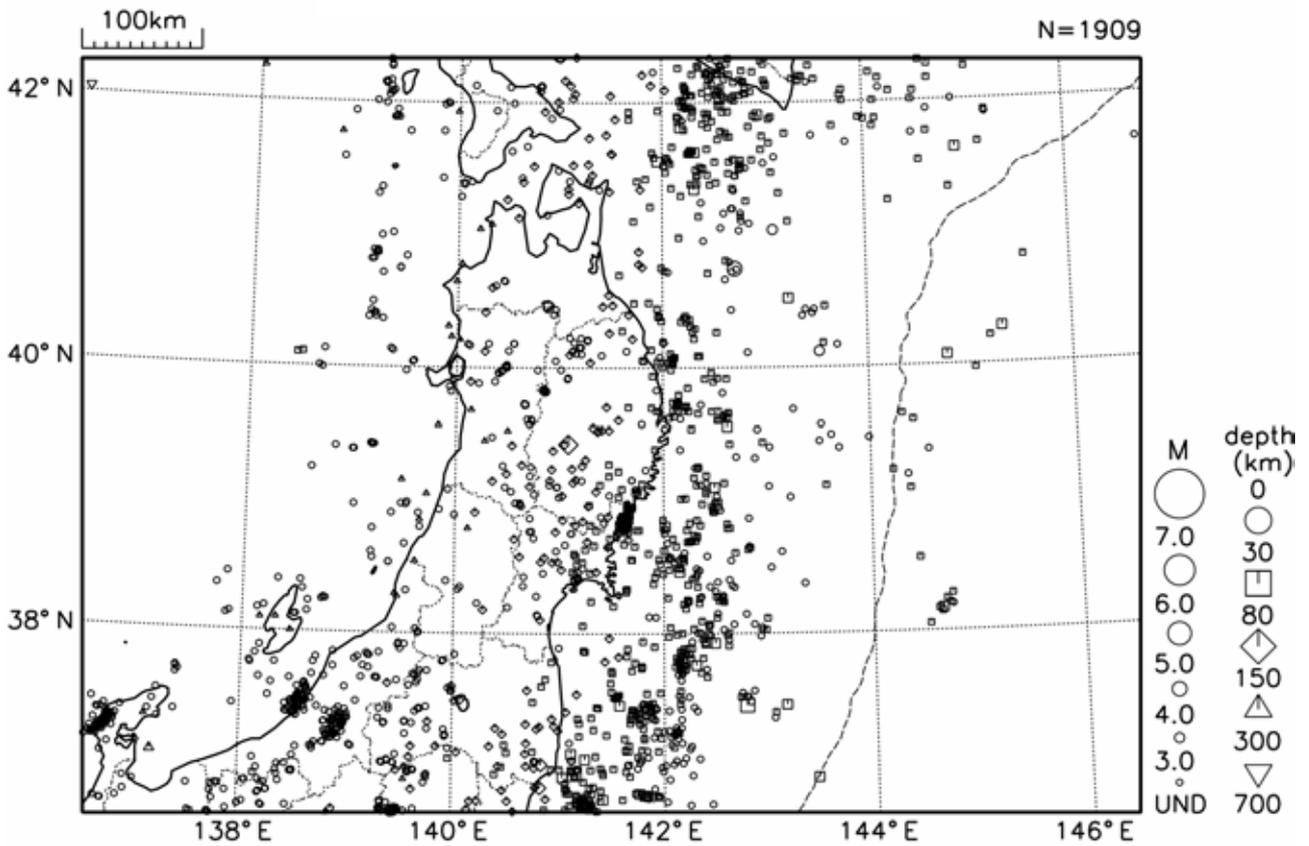


図4 東北地方の震央分布図（2008年2月1日～2月29日）

[概況]

2月に東北地方で震度1以上を観測した地震は17回（1月は21回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

関東・中部地方の地震活動

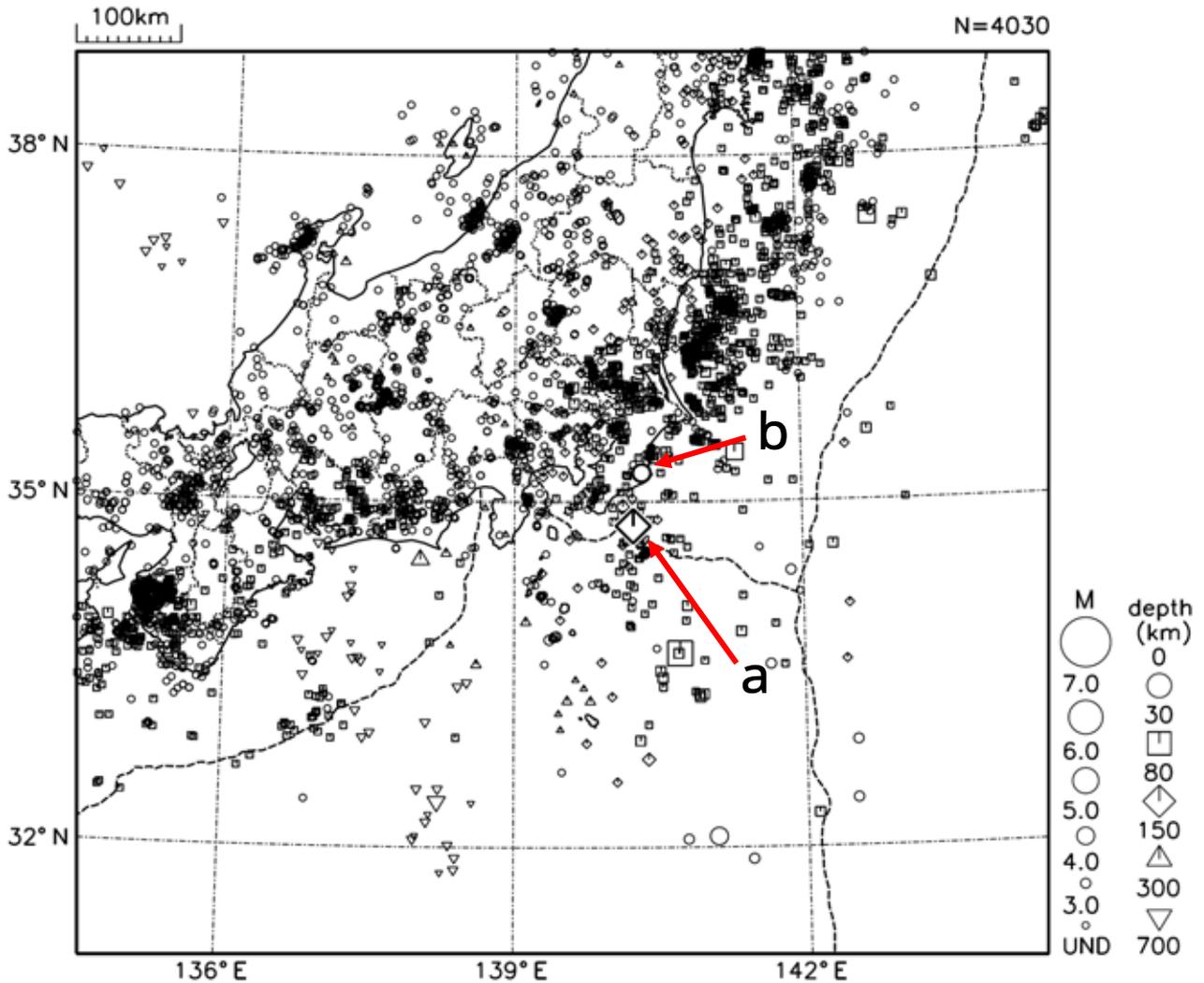


図5 関東・中部地方の震央分布図（2008年2月1日～2月29日）

[概況]

2月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は43回（1月は47回）であった。2月中の主な活動は次のとおりである。

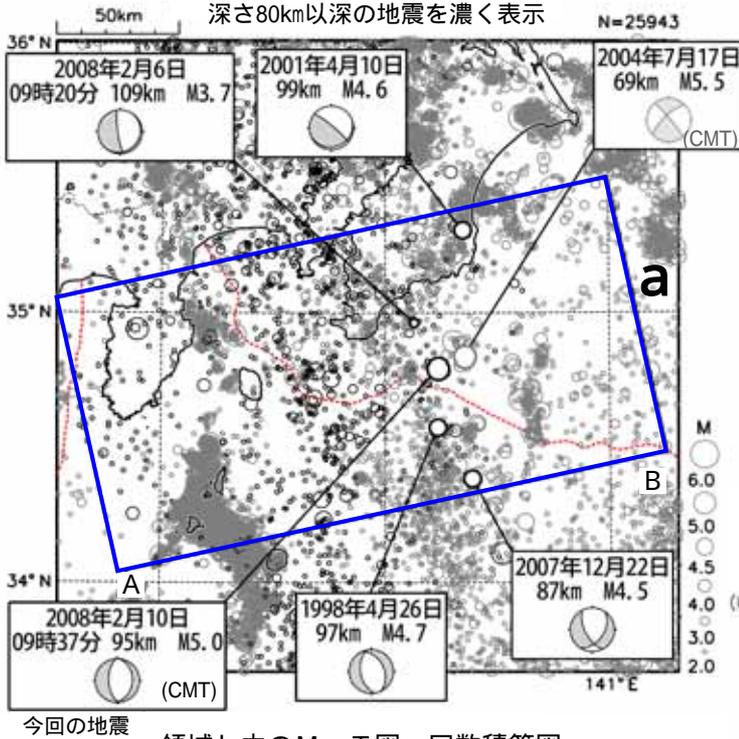
10日09時37分、千葉県南東沖の深さ95kmでM5.0の地震（図5中のa）があり、千葉県、東京都、静岡県で震度3を観測したほか、関東、甲信地方と静岡県で震度2～1を観測した（p6参照）。

10日23時57分、千葉県南部〔千葉県東方沖〕の深さ16kmでM4.2の地震（図5中のb）があり、千葉県勝浦市、大多喜町で震度3を観測したほか、千葉県内で震度2～1を観測した（p7参照）。

27日15時54分、父島近海でM6.6の地震（図5の範囲外）があり、東京都小笠原村で震度3を観測した（p8参照）。

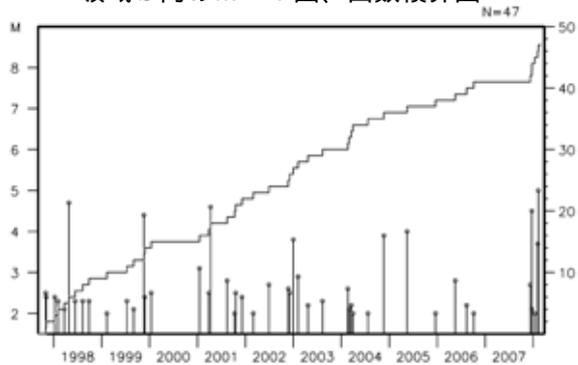
2 月 10 日 千葉県南東沖の地震

震央分布図（1997年10月1日～2008年2月29日、
深さ0～200km、M 2.0）
深さ80km以深の地震を濃く表示

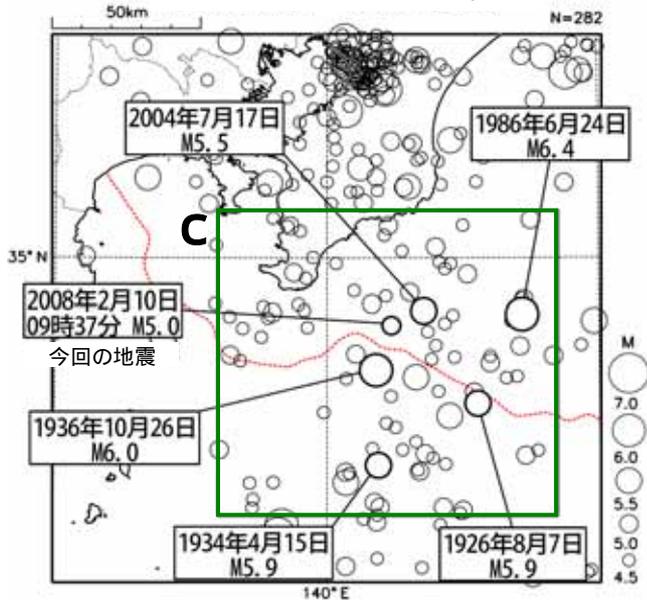


今回の地震

領域 b 内の M - T 図、回数積算図

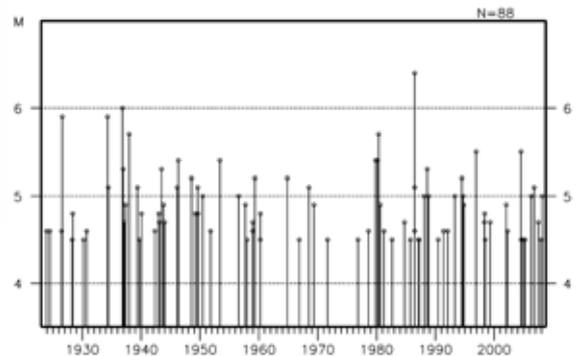


震央分布図（1923年8月1日～2008年2月29日、
深さ60～150km、M 4.5）



今回の地震

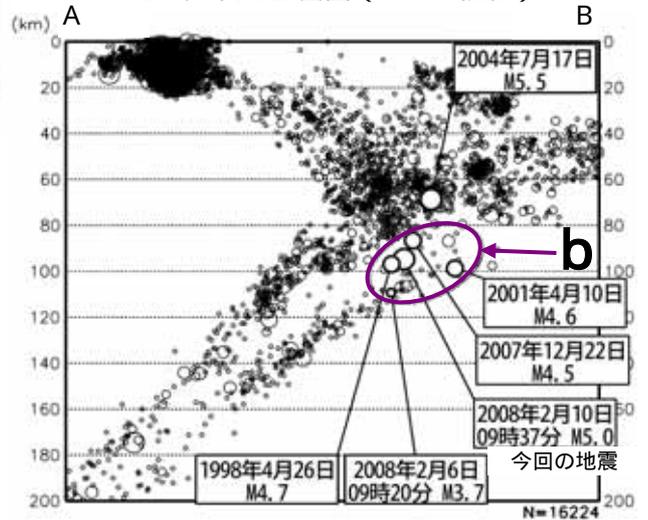
領域 c 内の M - T 図



2008年2月10日09時37分に千葉県南東沖の深さ95kmでM5.0(最大震度3)の地震が発生した。発震機構(CMT解)は東西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内で発生した地震である。1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b、二重面の下面付近)では、M4以上の地震が年に1回程度発生している。

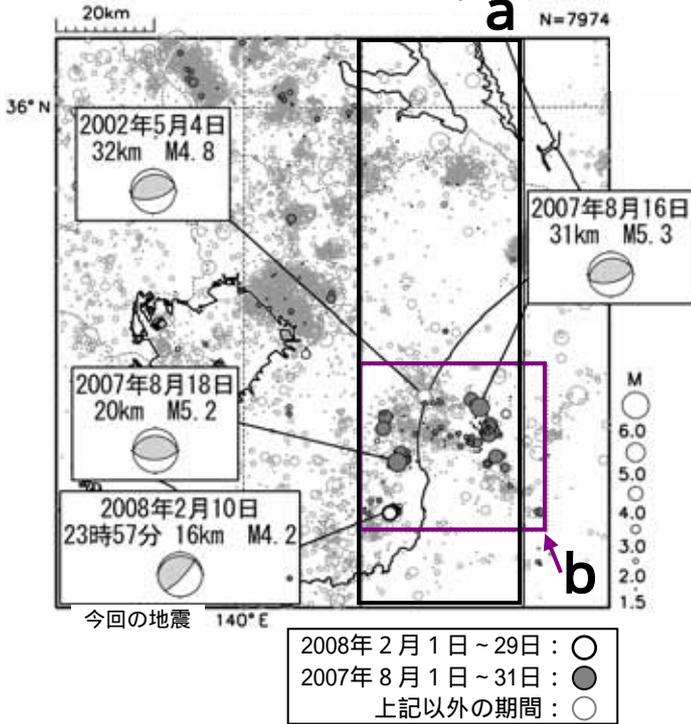
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域c)では1986年6月24日のM6.4(最大震度4)の地震が最大である。

領域 a 内の断面図 (A - B 投影)

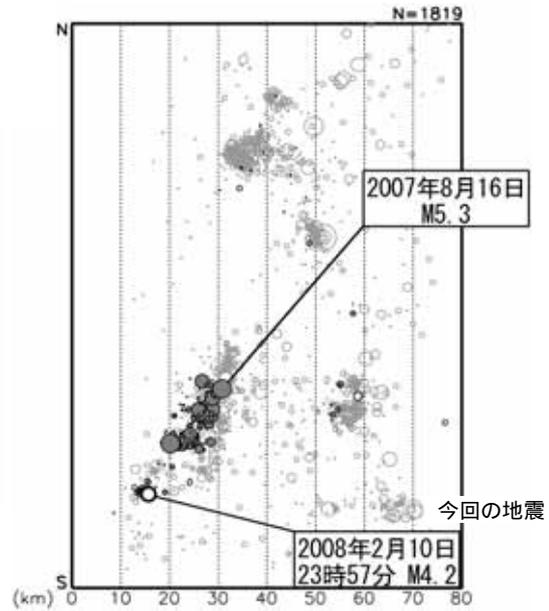


2 月 10 日 千葉県南部〔千葉県東方沖〕の地震

震央分布図（1997年10月1日～2008年2月29日、
深さ0～80km、M 1.5）



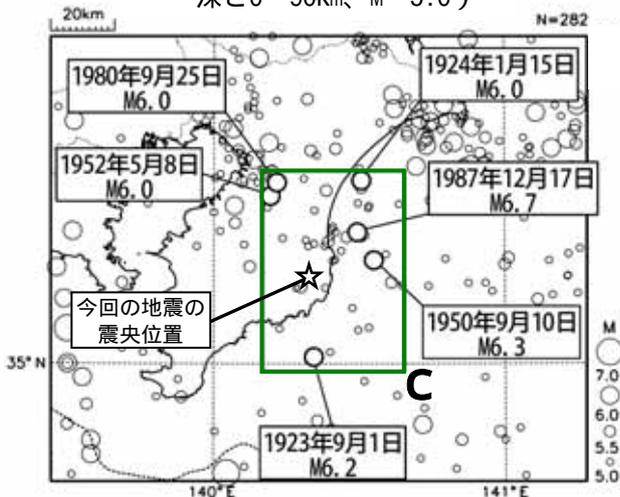
領域 a 内の南北断面図



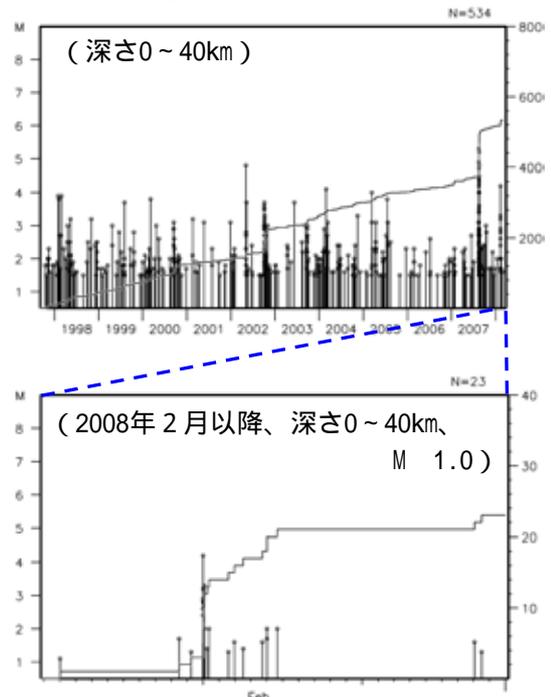
2008年2月10日23時57分に千葉県南部の深さ16kmでM4.2(最大震度3)の地震が発生した。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震であると考えられる。今回の地震の震源付近(領域b)では、2007年8月にもM5.3を最大とする活発な地震活動があった。今回の地震はそれらよりもやや浅い場所で発生している。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では1987年12月17日に発生したM6.7の地震が最大である。

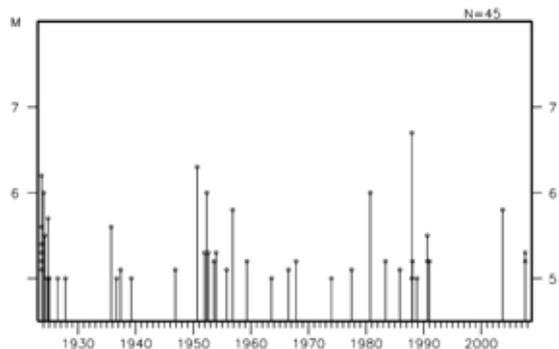
震央分布図（1923年8月1日～2008年2月29日、
深さ0～90km、M 5.0）



領域 b 内の M - T 図、回数積算図

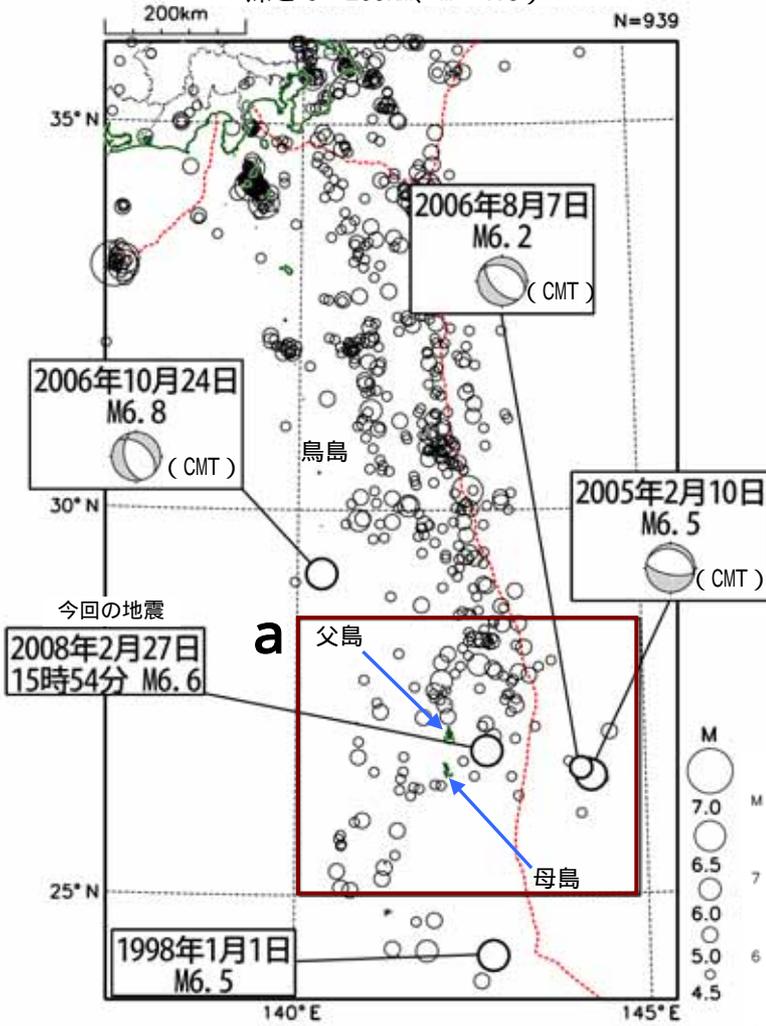


領域 c 内の M - T 図



2 月 27 日 父島近海の地震

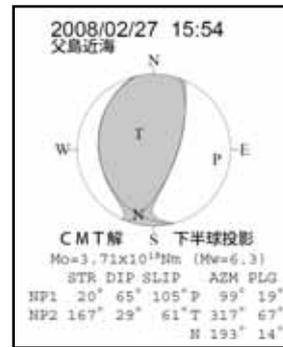
震央分布図(1997年10月1日~2008年2月29日、
深さ0~200km、M 4.5)



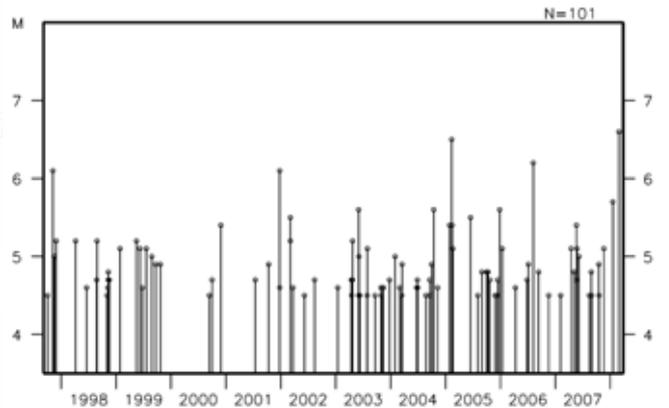
2008年2月27日15時54分に父島近海でM6.6(最大震度3)の地震が発生した。発震機構(CMT 解)は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6以上の地震が時々発生している。

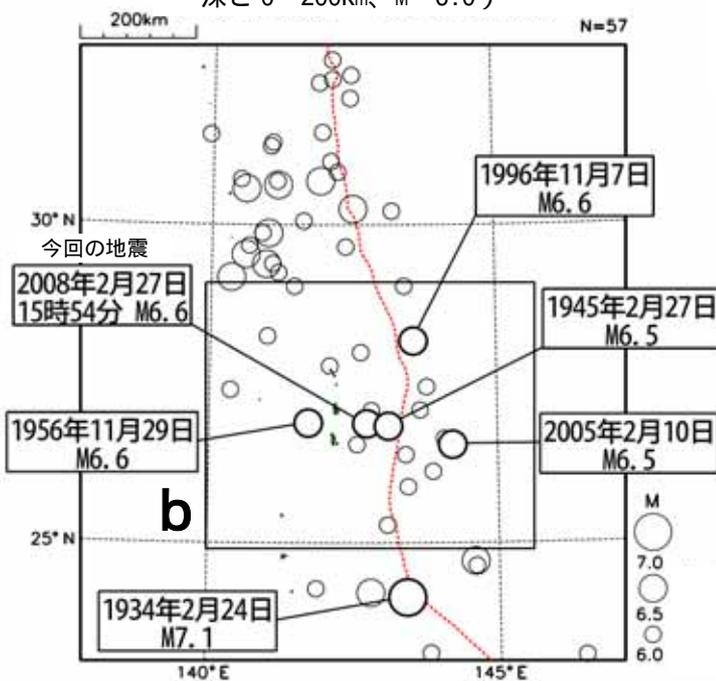
今回の地震の発震機構解(CMT 解)



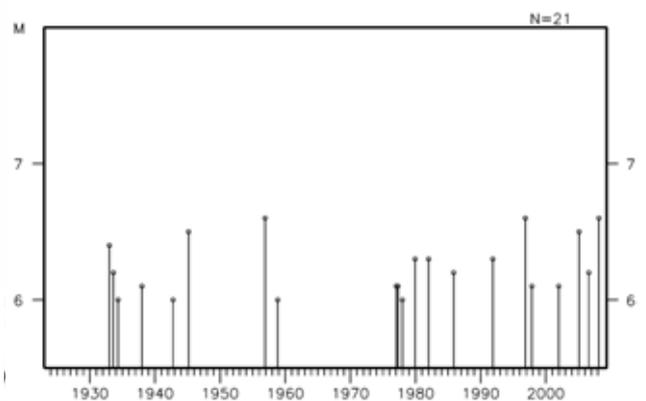
領域 a 内の M - T 図



震央分布図(1923年8月1日~2008年2月29日
深さ0~200km、M 6.0)



領域 b 内の M - T 図



近畿・中国・四国地方の地震活動

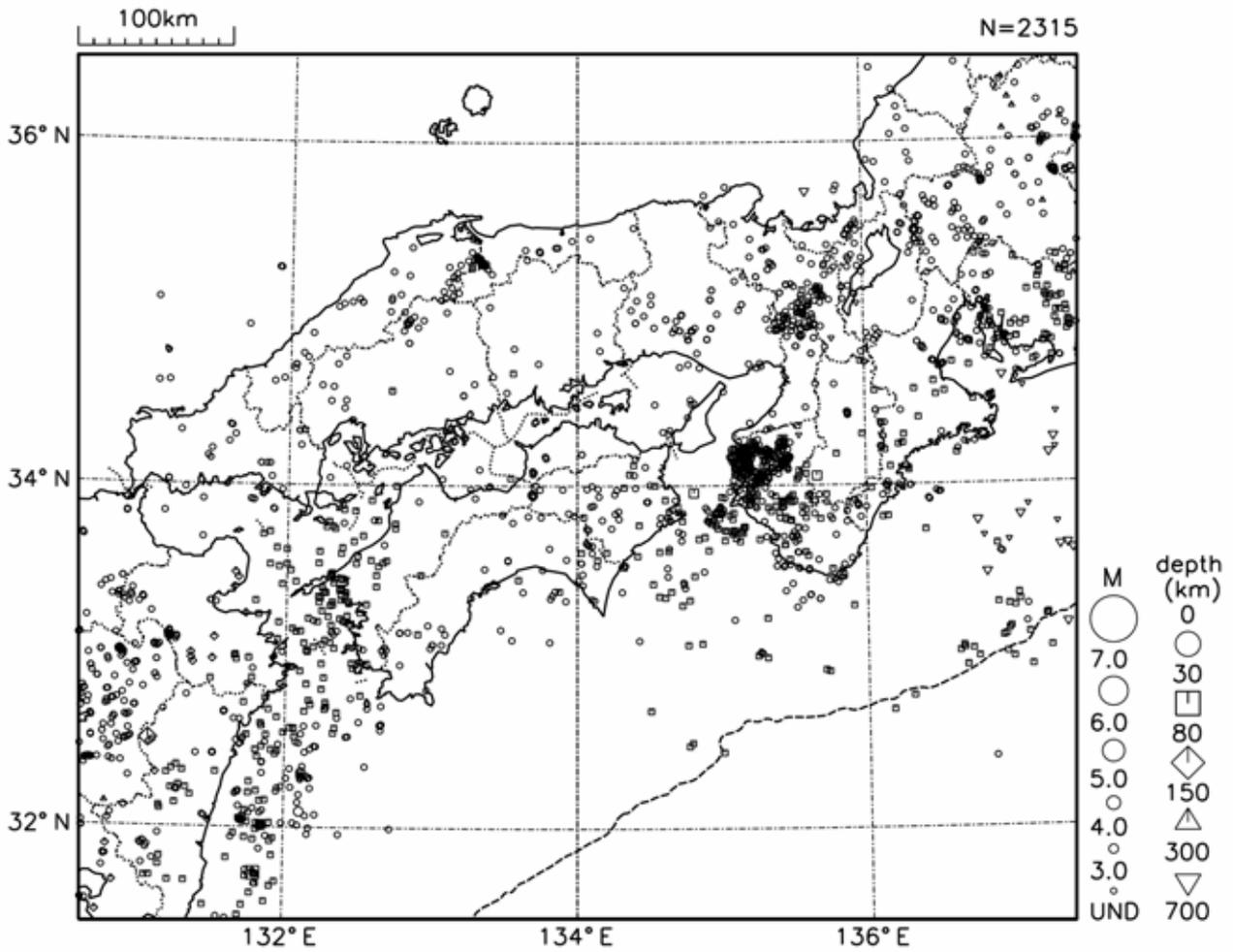


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2008年2月1日～2月29日）

[概況]

2月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は14回（1月は13回）であった。2月中、特に目立った活動はなかった。

九州地方の地震活動

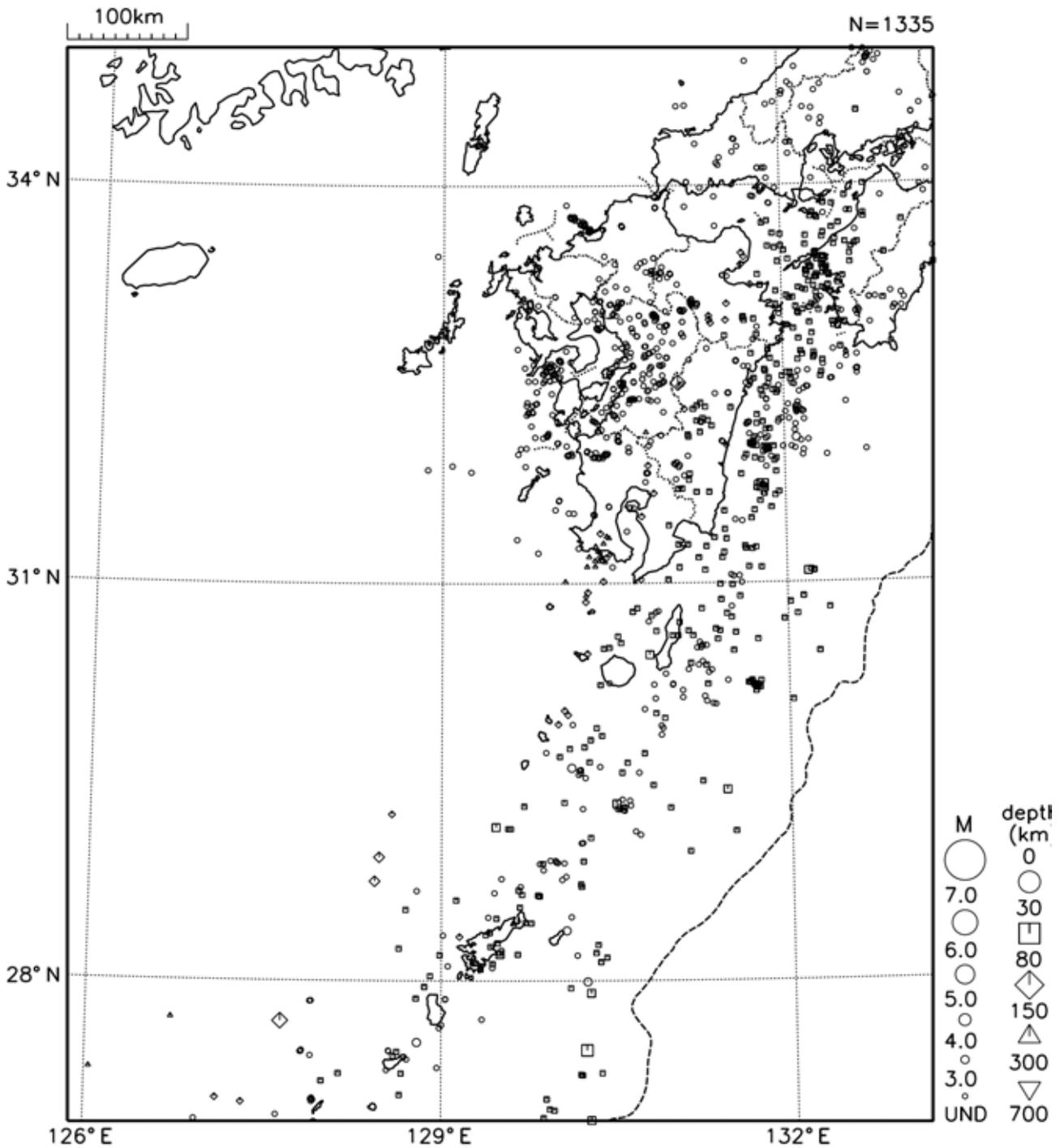


図 九州地方の震央分布図（2008年2月1日～2月29日）

[概況]

2月に九州地方で震度1以上を観測した地震は10回（1月は11回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

沖縄地方の地震活動

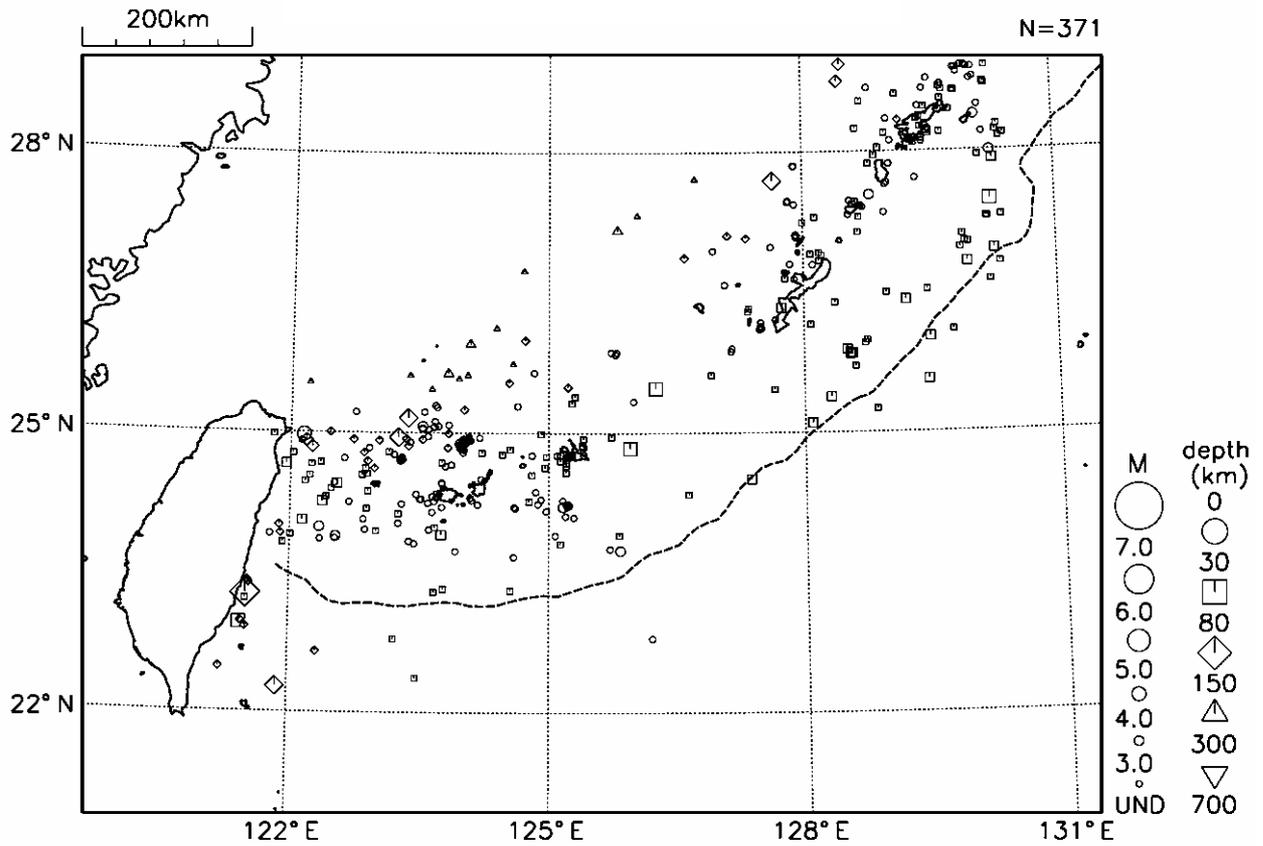


図 8 沖縄地方の震央分布図（2008 年 2 月 1 日～ 2 月 29 日）

【概況】

2 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 1 回（1 月は 2 回）であった。
2 月中、特に目立った活動はなかった。

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

とくに目立った活動はなかった。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

2月25日に気象庁において第261回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会(定例会)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した(図2～図8)

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。静岡県中部では、プレート内で通常より活動レベルが低く、地殻内は活発な状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

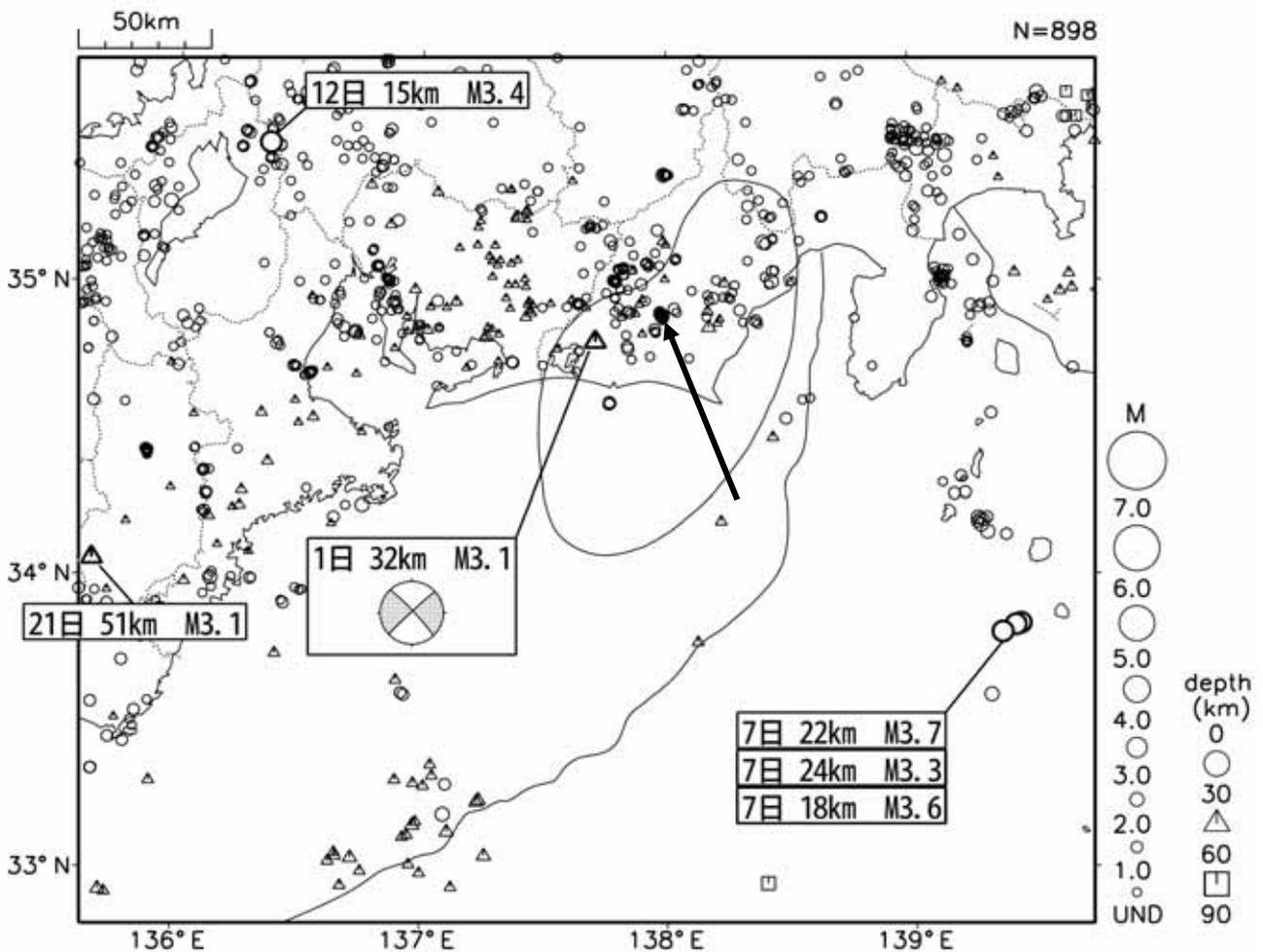


図1 震央分布図(2008年2月1日～29日:深さ90km以浅、Mすべて。M3.0以上の地震に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図はP波初動による発震機構(下半球投影)。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。)

1日17時03分、静岡県西部の深さ32kmでM3.1の地震があり、最大震度1を観測した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

7日03時12分、三宅島近海の深さ22kmでM3.7の地震があり、最大震度1を観測した。同日23時08分20秒および26秒にも深さ24kmおよび18kmでM3.3とM3.6の地震があり、最大震度1を観測した。

12 日 17 時 39 分、滋賀県北部の深さ 15km で M3.4 の地震があり、最大震度 2 を観測した。陸域の地殻内で発生した地震である。

21 日 09 時 44 分、奈良県の深さ 51km で M3.1 の地震があり、最大震度 1 を観測した。フィリピン海プレート内で発生した地震である。

2007 年 11 月 12 日頃から陸域の地殻内で発生している地震活動は、収まりつつある（2008 年 3 月 5 日現在）。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 2、図 3)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりにずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ除去」(図 2、図 3、図 4)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。))として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 173 市町村(平成 19 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2008年2月20日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	8	4	6	1	2	2	4	4
短期地震回数 (平均)	15 (6.31)	5 (5.91)	17 (13.23)	7 (14.08)	0 (2.46)	2 (5.99)	2 (3.53)	5 (6.06)
中期活動指数	8	4	5	4	1	0	1	1
中期地震回数 (平均)	37 (18.93)	16 (17.74)	44 (39.68)	41 (42.24)	1 (4.93)	3 (11.99)	2 (7.06)	6 (12.12)

- * Mしきい値： M \geq 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M \geq 1.4：駿河湾
 - * クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。
 $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7$ 日：固着域、愛知県、浜名湖
 $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10$ 日：駿河湾
 - * 対象期間： 短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）
 中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）
 - * 基準期間： 1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖
 1991年－2000年（10年間）：駿河湾
- [各領域の説明]
- ① 固着域：固着していると考えられる領域。
 - ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
 - ③ 浜名湖：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくりすべり）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
 - ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

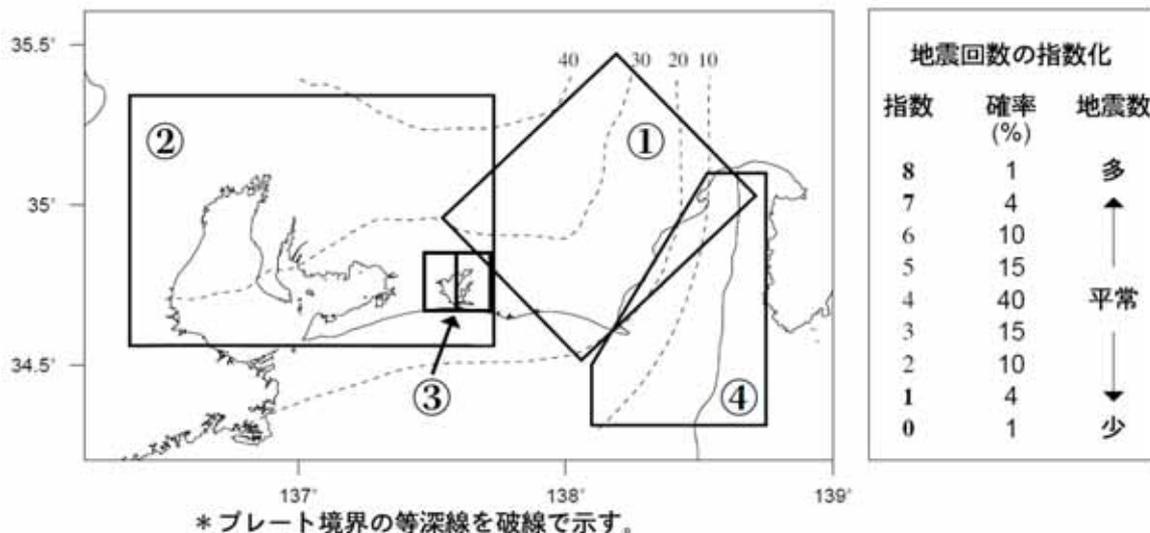


図 2 東海地域の地震活動指数

固着域の地殻内で活動指数が高い。一方、浜名湖と駿河湾の中期で指数が低い。愛知県プレート内短期の指数低下は、揺らぎと考えられる。

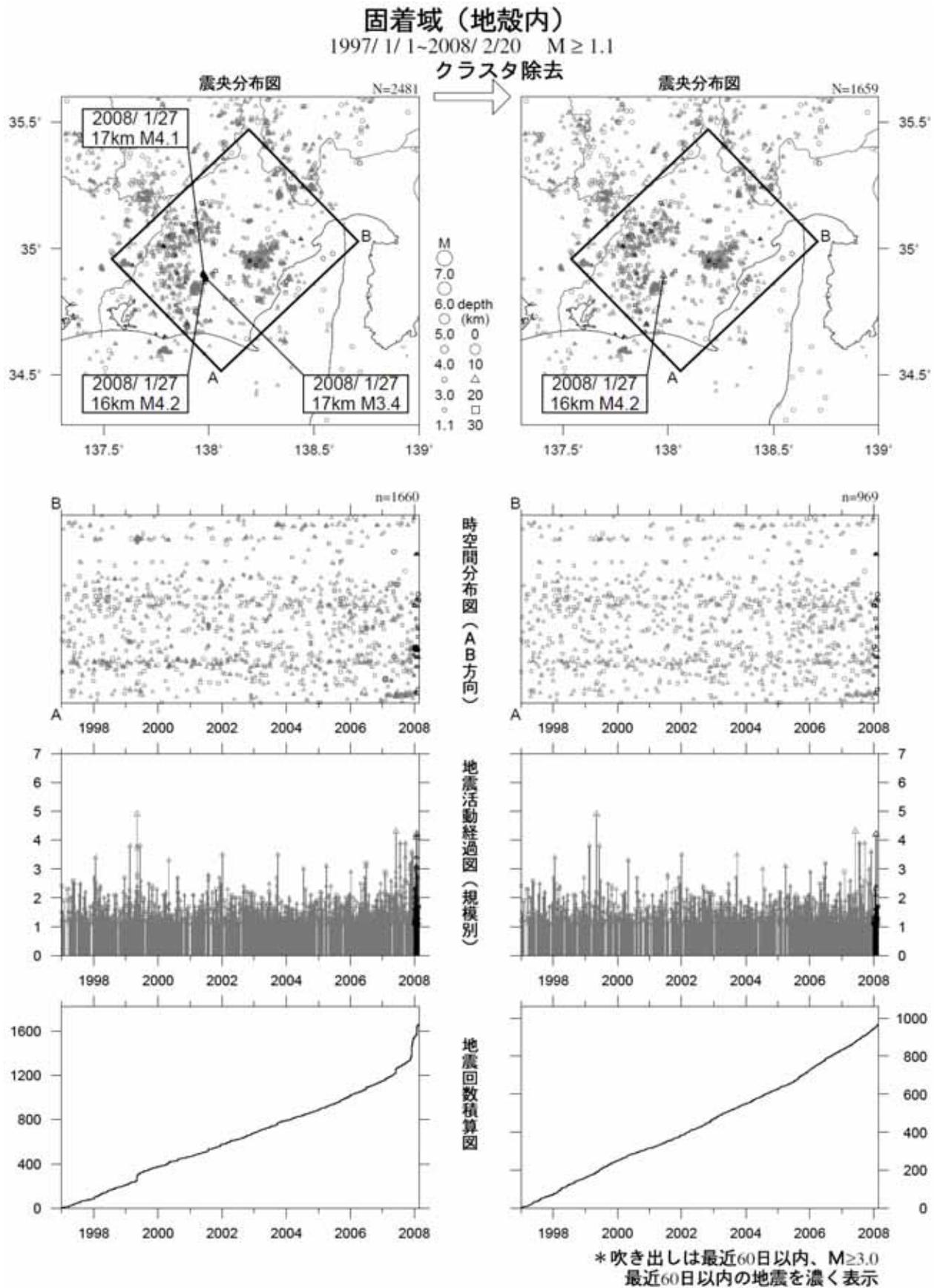


図3 固着域（地殻内）の地震活動

静岡県西部の地震活動活発化は、1997年以降では珍しい規模の回数増加であった（左下）。クラスタ除去後の地震回数積算図（右下）を見ると、2000年半ばまでは傾きが急で活発、その後2005年半ばまでは低調、2005年半ば以降は活発、という傾向が見られる。

浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2008/ 2/ 20 M ≥ 1.1 * クラスタ除去したデータ

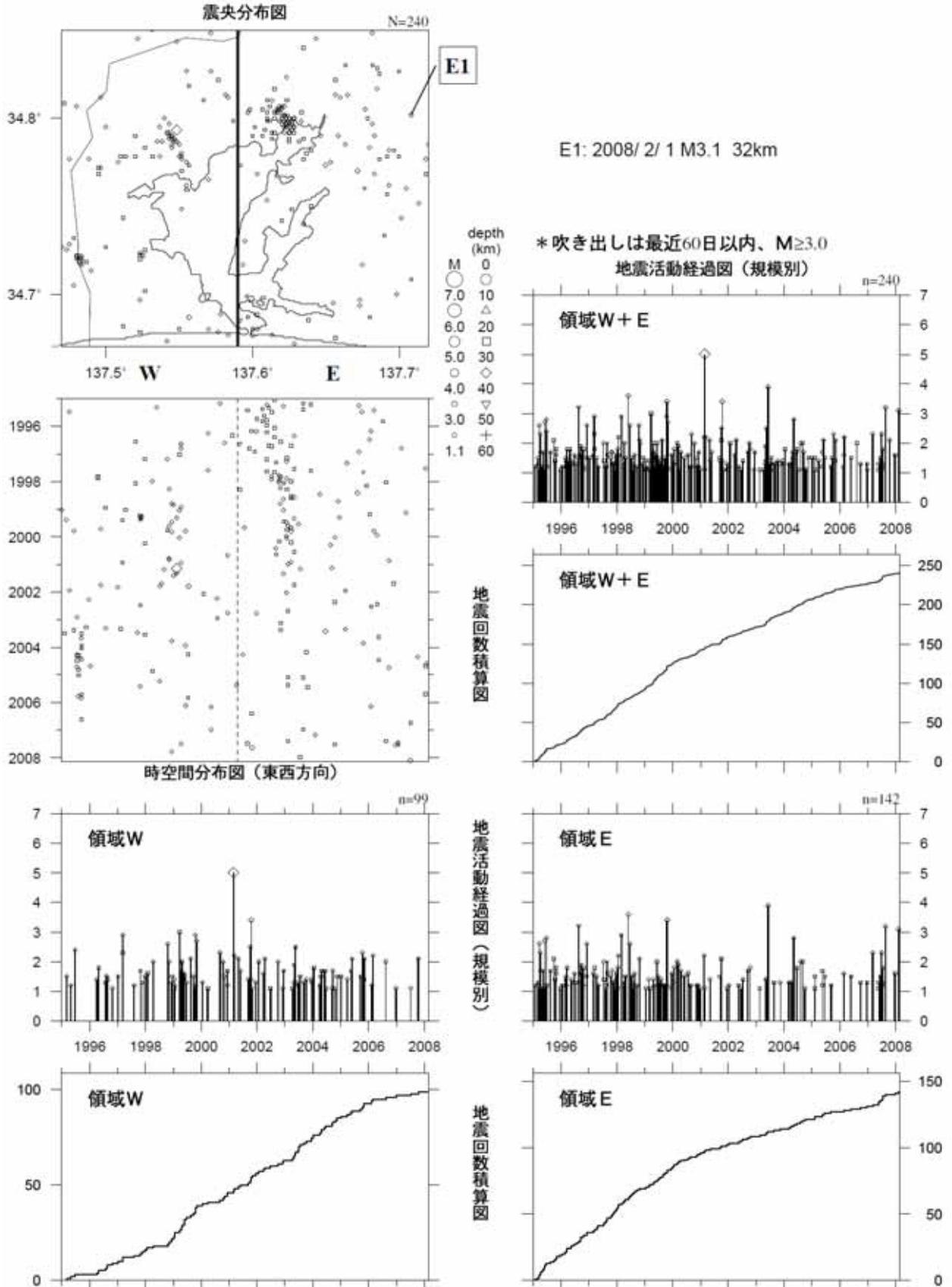
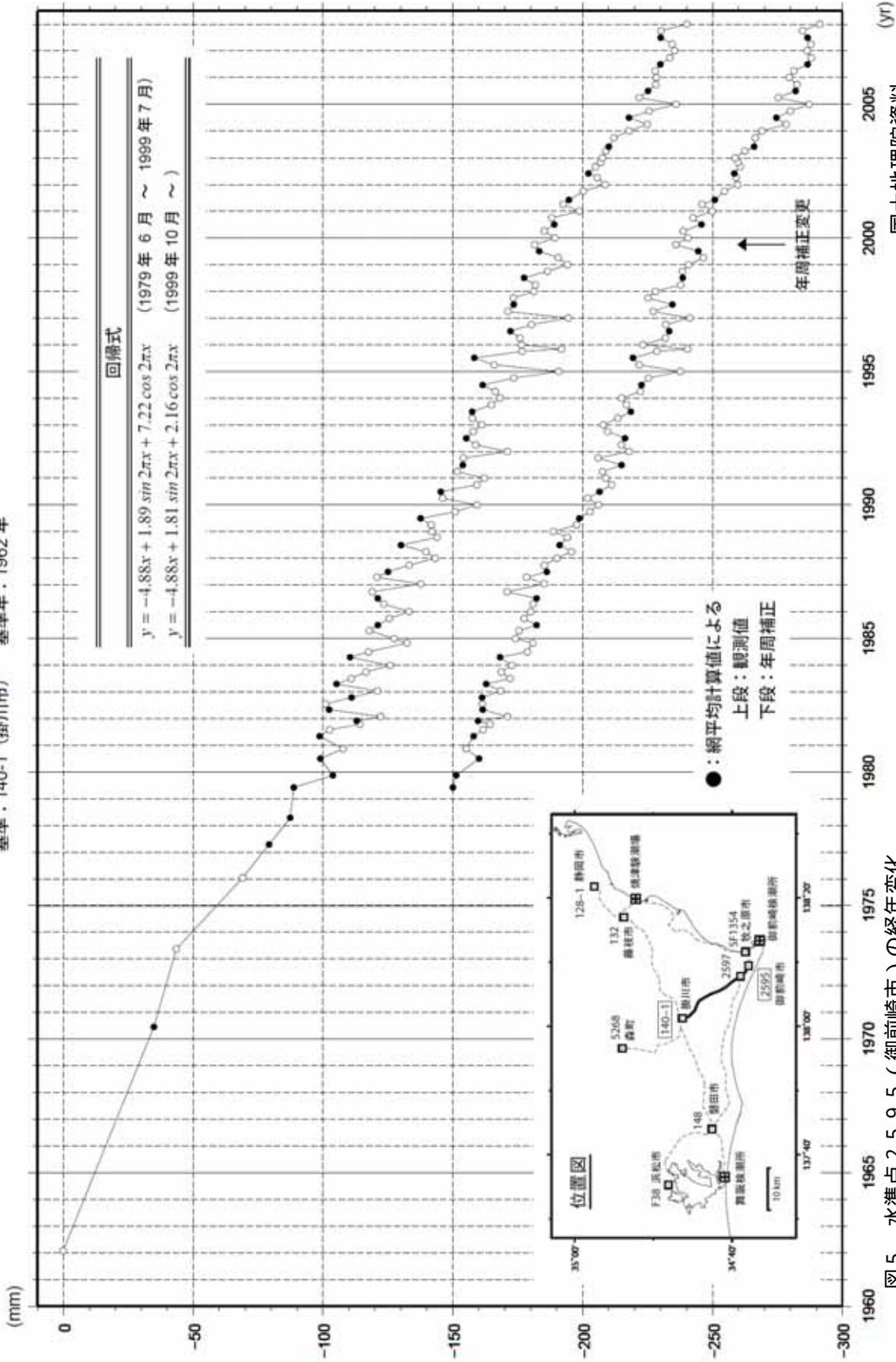


図4 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続していたが、2007年7月～9月ごろにかけて活動が回復した。その後は再び低下している。今期は2月1日にM3.1の地震が発生したことから、短期指数が4に回復しているが、揺らぎの可能性はある。領域Wは2006年以降、活動が低下した状況である。

水準点 2595 (御前崎市) の経年変化

基準：140-1 (掛川市) 基準年：1962 年

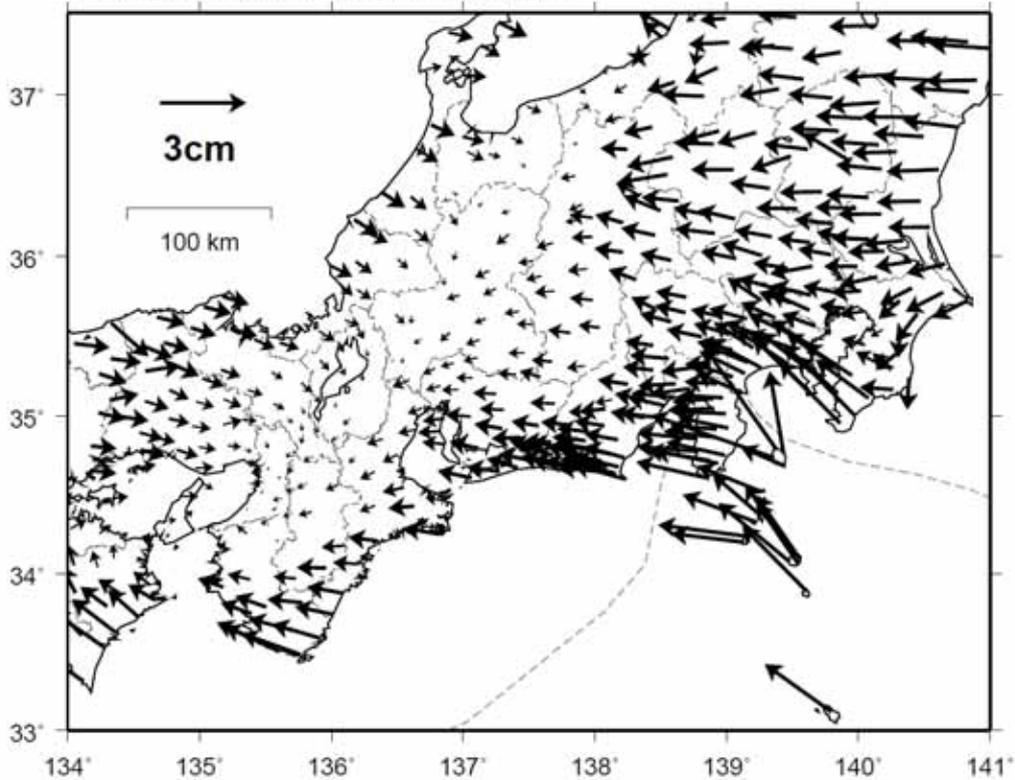


国土地理院資料

東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大湊固定】 （ 2007 年 2 月～ 2008 年 2 月）

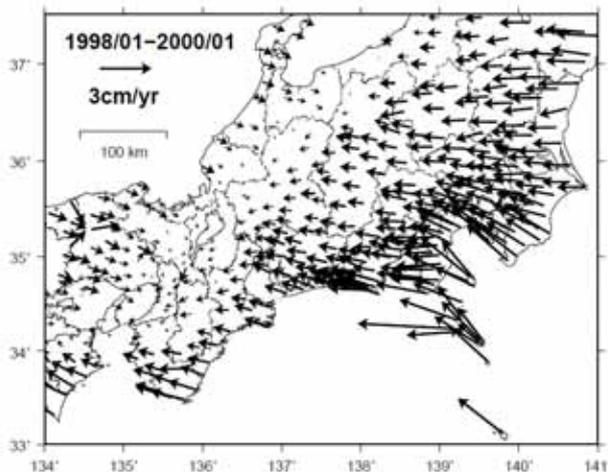
基準期間：2007/1/24 - 2007/2/2 [F2：最終解]

比較期間：2008/1/24 - 2008/2/2 [F2：最終解]



- ・ 2007年3月25日に発生した能登半島地震による固定点大湊の地殻変動の影響は取り除いている。
- ・ 2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による固定点大湊の地殻変動の影響は取り除いている。

スロースリップ開始以前の地殻変動速度
(1998年1月～2000年1月)



スロースリップ進行期の地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)

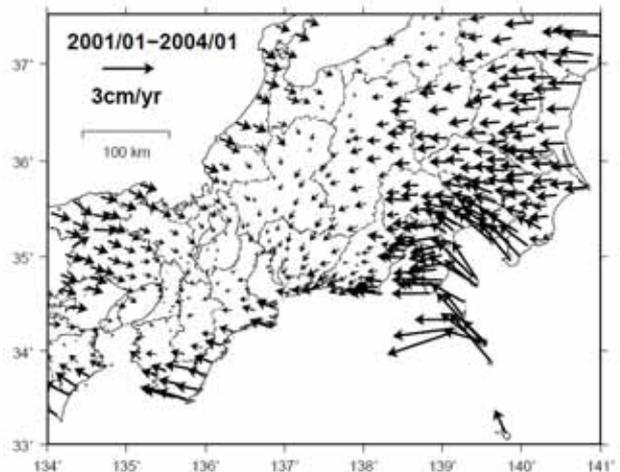


図 6 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、最近のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである。（最近：2008年1月24日～2008年2月2日、新潟県のGPS観測点大湊を固定。）東海地方に西～北西方向に変動する領域が見られるが、これは下左図の、スロースリップ（ゆっくり滑り）開始以前の定常的な状態と似ている。

2ヶ月ごとの東海非定常地殻変動（水平変動）【大潟固定】

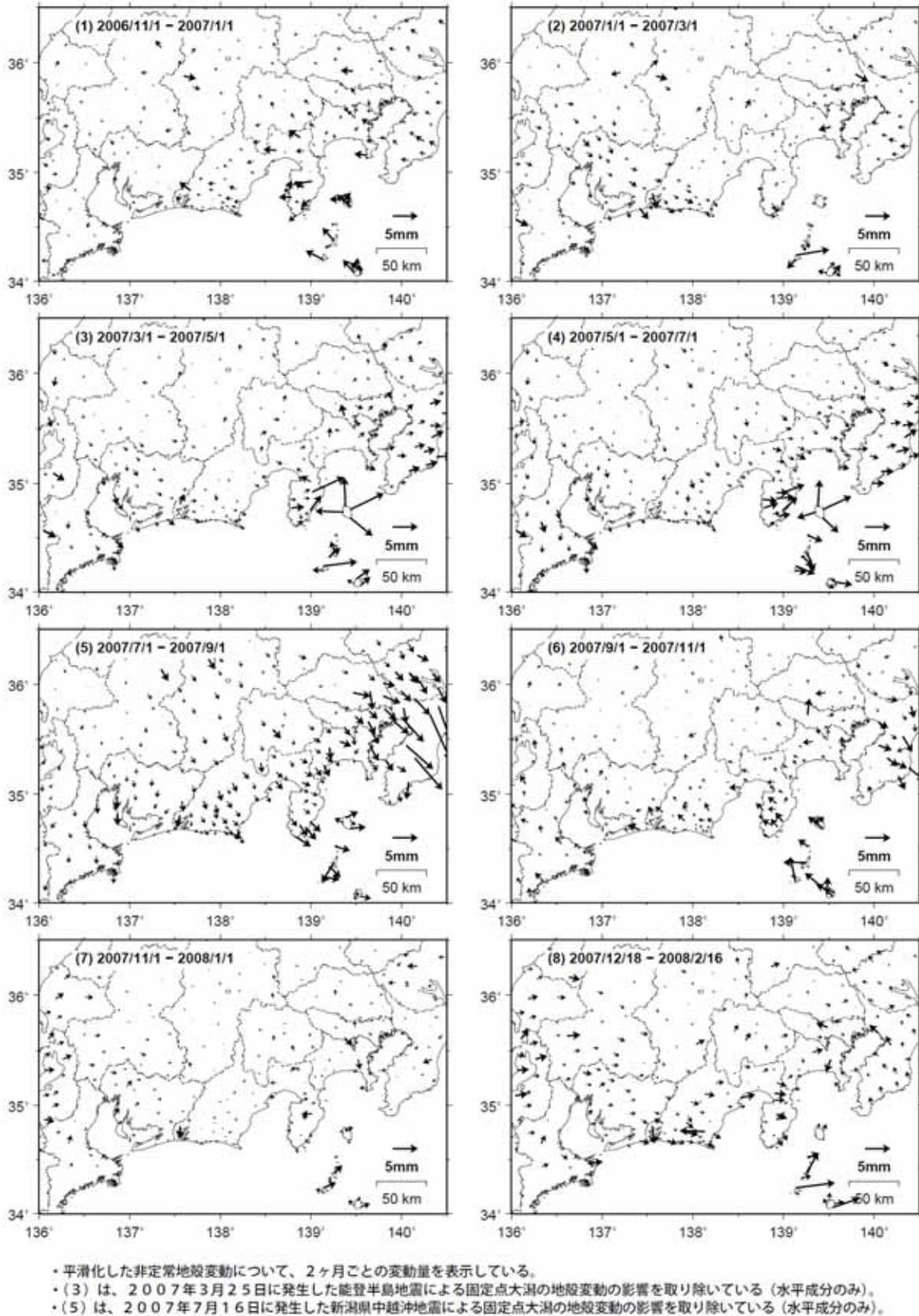
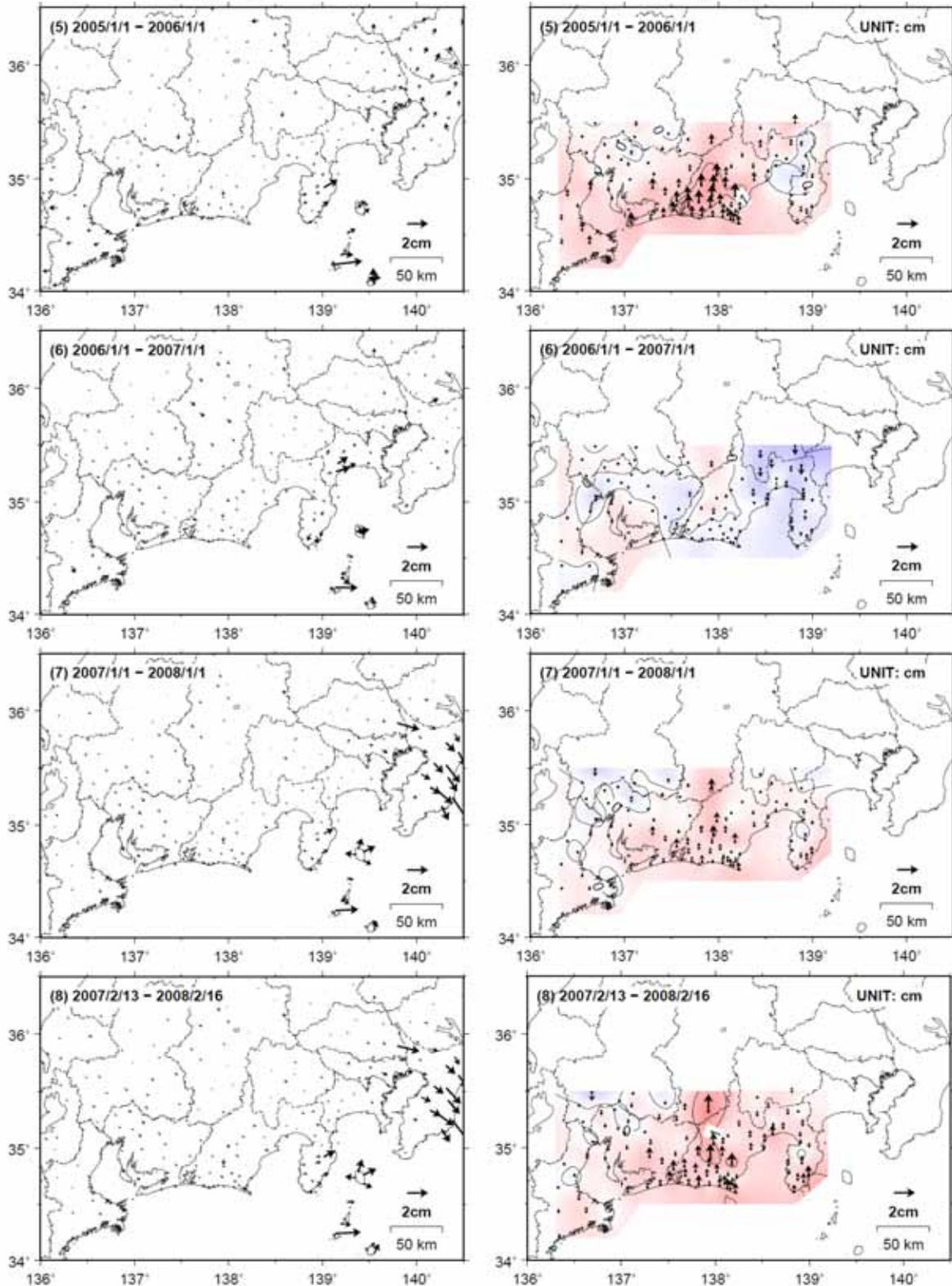


図7 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動
 （2006年11月～2008年2月16日の水平変動）大潟固定

国土地理院資料

最近の図(8)で東海地域に見られるベクトルは小さく、ゆっくり滑りによる顕著な地殻変動は発生していないと思われる。

1 年間で見た東海非正常地殻変動 【大潟固定】



- ・平滑化した非正常地殻変動について、1 年間の変動量を表示している。
- ・2003 年以降の上下成分は年周/半年周成分を除去していない。
- ・(7)、(8) は、2007 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震による固定点大潟の地殻変動の影響を取り除いている（水平成分のみ）。
- ・(7)、(8) は、2007 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震による固定点大潟の地殻変動の影響を取り除いている（水平成分のみ）。

図 8 国土地理院の GPS 観測結果による 1 年間で見た東海非正常地殻変動 (2005 年、2006 年、2007 年、最近 1 年間の水平変動と上下変動) 大潟固定
 ゆっくり滑りが停止した後の 2006 年以降 (6) ~ (8) は、水平変動が小さく、浜名湖周辺の顕著な隆起も見られない。なお、各図の番号は(1)2001 年からの通し番号である。

国土地理院資料

日本の主な火山活動

桜島では、3日に昭和火口で爆発的噴火が2回発生したことから、火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を公表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。しかし、6日の爆発的噴火以降、噴火が発生していないことなどから、20日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を公表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

その他の火山は予報警報事項に変更はありません。2月29日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況は以下のとおりです。



図1 噴火警報発表中の火山

火口周辺警報

噴火警戒レベル2、火口周辺規制 : 桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島

火口周辺危険 : 三宅島、硫黄島

噴火警報（周辺海域）

周辺海域警戒 : 福徳岡ノ場

噴火予報

噴火警戒レベル1、平常 : 樽前山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、草津白根山、浅間山、富士山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢、新燃岳）、口永良部島

平常 : 上記以外の火山

注)噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となる。

各火山の 2 月の活動解説

【北海道地方】

めあかんだけ 雌阿寒岳 [噴火予報（平常）]

1 月 9 日から 10 日（前期間）にかけて体に感じない小さな火山性地震が多発したが、その後、地震回数は減少し、2 月上旬頃には地震多発以前の状態に戻った。

噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

とかちだけ 十勝岳 [噴火予報（平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

たるまゑさん 樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

A 火口及び B 噴気孔群は、高温の状態が続いていると推定され、溶岩ドーム及びその近傍では、火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要である。

くつたら 倶多楽 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

なお、登別市によると引き続き大正地獄でごく小規模な泥混じりの熱湯噴出が時々見られた。

うすざん 有珠山 [噴火予報（平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

ほっかいどうこまがたけ 北海道駒ヶ岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

GPS 連続観測ではわずかな山体膨張が継続しているが、地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

えざん 恵山 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【東北地方】

いわきさん 岩木山 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

いわてさん 岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

あきたこまがたけ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

くりこまやま 栗駒山 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

あづまやま 吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

あだたらやま 安達太良山 [噴火予報（平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

ぼんたいざん 磐梯山 [噴火予報（平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

なすだけ 那須岳 [噴火予報（平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

くさつしらねさん 草津白根山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

浅間山 あさまやま **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 100m で推移した。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

新潟焼山 にいがたやけやま **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

御嶽山 おんたけさん **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴気活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

白山 はくさん **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

富士山 ふじさん **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動は低調な状態で、噴火の兆候はみられない。

伊豆東部火山群 いずとうぶかざんぐん **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、噴煙等の表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

伊豆大島 いずおおしま **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

GPS、光波距離計¹⁾及び体積歪計²⁾による連続観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続している。

29 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布³⁾に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

1) レーザーなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。
2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測される。

3) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

三宅島 みやけじま **【火口周辺警報（火口周辺危険）】**

20 日及び 29 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量⁴⁾は一日あたり 1,100 ~ 2,100 トンで、依然として多量の火山ガス放出が続いている。また三宅島の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

噴煙高度は火口縁上 100 ~ 300m で推移した。

地磁気連続観測⁵⁾では、山体内部の温度低下を示す変化が鈍化しながらも続いている。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮が徐々に小さくなりながら継続している。

三宅島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では噴火等に対する警戒が必要である。また、風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。雨による泥流にも注意が必要である。

4) 紫外線差分吸収分光計 (DOAS) による。DOAS は、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、二酸化硫黄濃度を測定する機器。

5) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。火山体内部で温度上昇があると、山頂火口の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

八丈島 はちじょうじま **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

硫黄島 いおうとう **【火口周辺警報（火口周辺危険）】**

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しているが、島全体が大きく隆起する地殻変動は鈍化したものの継続している。

硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要である。

福徳岡ノ場 ふくとくおかのば **【噴火警報（周辺海域警戒）】**

12 日に海上保安庁、19 日に第三管区海上保安本部、20 日に海上自衛隊が行った上空からの観測によると、火山活動によると考えられる変色水が確認された。

福徳岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では警戒が必要である。

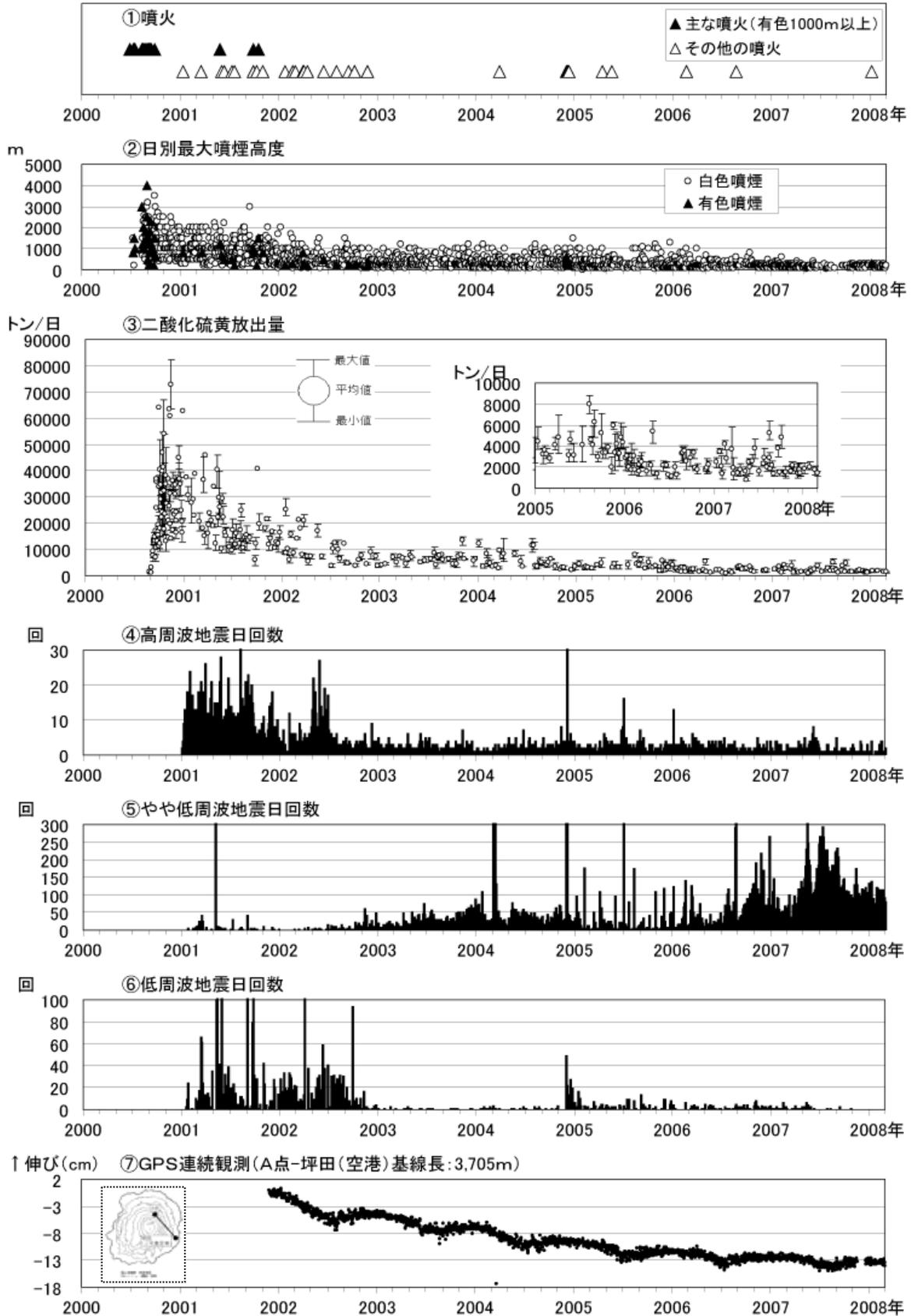


図2 三宅島 最近の火山活動の推移（2000年1月～2008年2月）
 は、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成。
 、及び は、地震の種類別に計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載

【九州地方及び南西諸島】

九重山 くじゅうざん [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

阿蘇山 あそざん [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

中岳第一火口の湯だまりの湯量や表面温度³⁾に変化はない。18日に中岳第一火口でごく小規模な土砂噴出が観測された。中岳第一火口南側火口壁の一部の噴気孔では引き続き赤熱現象が確認された。

孤立型微動は多い状態が続いている。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気⁵⁾に特段の変化はない。

阿蘇山では火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。ただし、火口内では噴気や火山ガスの噴出が見られることから、火口内等では火山灰噴出等に警戒が必要である。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要である。

雲仙岳 うんぜんだけ [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

霧島山(新燃岳) きりしまやま しんもろだけ

[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

GPS 連続観測では、新燃岳のわずかな山体膨張が鈍化したものの継続しているが、地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

霧島山(御鉢) きりしまやま おぼち

[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

桜島 さくらしま

[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

3日10時18分と15時54分に昭和火口で爆発的噴火が発生した。このことから3日に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げた。昭和火口では6日10時33分と11時25分にも爆発的噴火が発生したが、その後は噴火の発生はなく、また火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続い

ており、山体の膨張を示す地殻変動も観測されていないことから、20日に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表し、噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引き下げた。

3日10時18分の爆発的噴火では火砕流が発生したほか、噴石が4合目(火口から1km程度)まで飛散した。3日15時54分の爆発的噴火では火砕流が火口の東約1.0kmまで流下した。6日11時25分の爆発的噴火では火砕流が火口の東約1.5kmまで流下したほか、噴石が5合目(火口から500m程度)まで飛散した。昭和火口では6日11時25分の噴火以降は、噴火の発生はない。

南岳山頂火口では7日にごく小規模な噴火が発生した。

火山性地震及び火山性微動は引き続き少ない状態で経過している。

二氧化硫黄放出量⁴⁾は、昭和火口の噴火活動中は一日あたり2,600~3,800トンと、それまでの一日あたり1,000トン前後から増加したが、7日及び13日の観測では一日あたり800~1,200トンと3日の噴火以前の状態に戻っている。

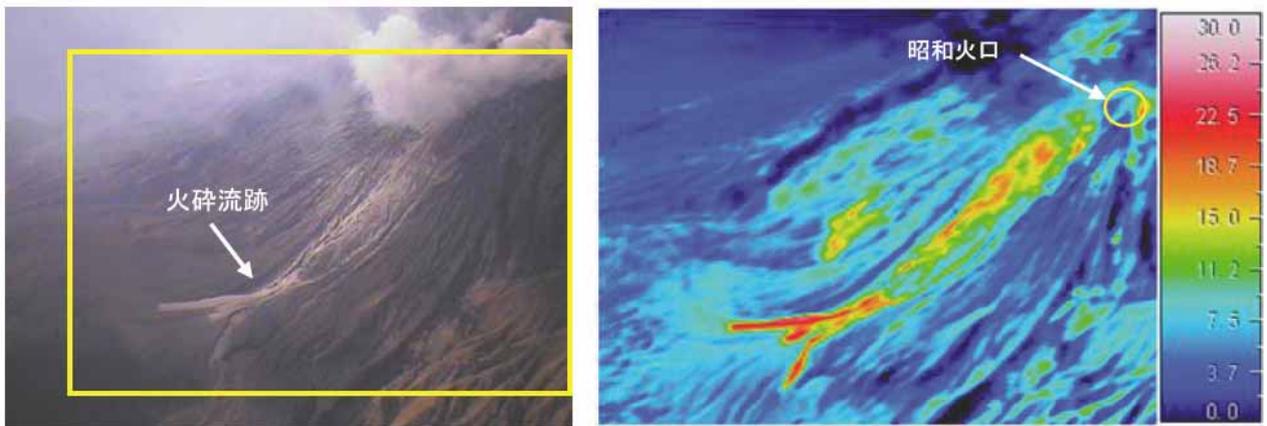
国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続している。

桜島では南岳山頂火口及び昭和火口の周辺に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの火口周辺では噴火に伴う大きな噴石の飛散に警戒が必要である。風下側では降灰及び火山れき(小さな噴石)に注意が必要である。降雨時には泥流や土石流に注意が必要である。

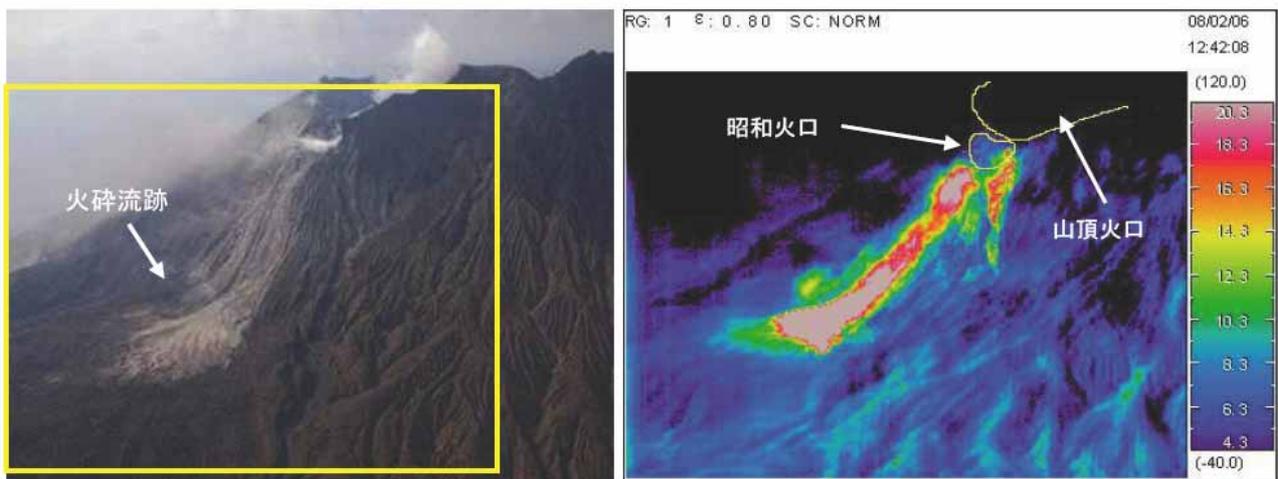
なお、昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、次第に活発化している傾向がみられる。今後の火山活動の推移に注意する必要がある。



図 3 桜島 6 日 11 時 25 分の爆発的噴火（黒神河原（昭和火口から東約 3km）にて撮影）



九州地方整備局の協力により、4 日 11 時 10 分頃北東方向から撮影した可視画像（左）と熱画像（右）



鹿児島県の協力により、6 日 12 時 40 分頃北東方向から撮影した可視画像（左）と熱画像（右）

図 4 桜島 火砕流の流下跡（可視画像の黄枠は熱画像の範囲を示す）

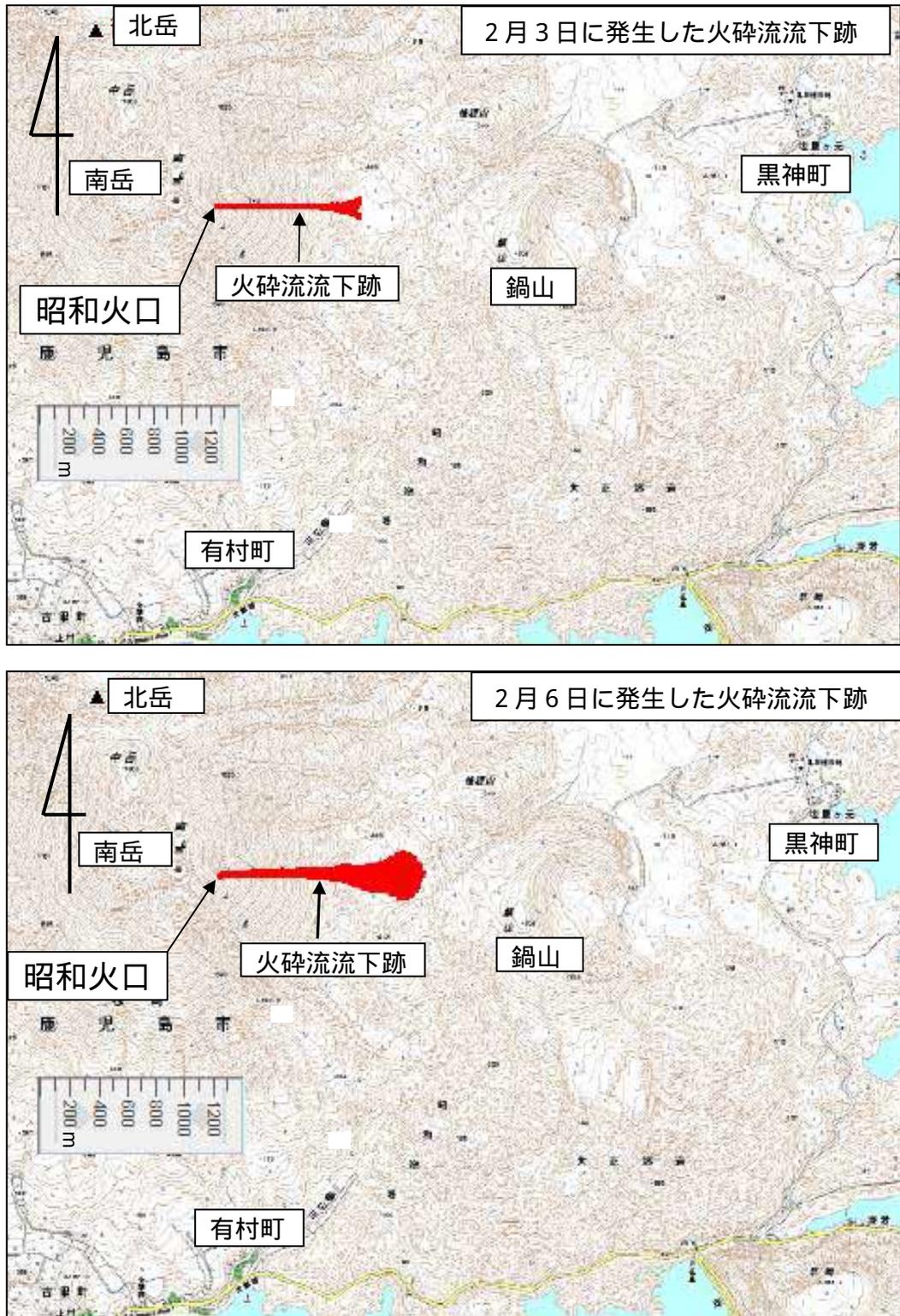


図5 桜島 火砕流の流下範囲

さつまいおうじま
薩摩硫黄島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。

硫黄岳山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要である。

くちのえらぶじま
口永良部島

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴気活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。新岳火口内では引き続き噴気や火山ガスの噴出が見られ、火口内等では警戒が必要である。

すわのせじま
諏訪之瀬島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

爆発的噴火が時々発生したほか、小規模な噴火も発生した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が時々確認された。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島では今後も御岳火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

資料 1 2008 年 2 月の噴火警報及び噴火予報、火山の状況に関する情報等の発表状況（定期発表以外）

火山名	噴火警報、噴火予報及び情報の種類	発表日時	噴火警報及び噴火予報の状況	概要
桜島	火山の状況に関する解説情報第 1 号	3 日 11 時 30 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	3 日 10 時 18 分に昭和火口で発生した爆発的噴火の概要
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	3 日 16 時 10 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	3 日 10 時 18 分と 15 時 54 分に昭和火口で爆発的噴火が発生したことから噴火警戒レベルを 2 (火口周辺規制) から 3 (入山規制) に引き上げ
	火山の状況に関する解説情報第 2 号	3 日 18 時 03 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	3 日 16 時 10 分発表の火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制) に関する解説
	火山活動解説資料	3 日 21 時 55 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	3 日 16 時 10 分発表の火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制) に関する解説
	火山の状況に関する解説情報第 3 号	4 日 17 時 00 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	その後の活動状況
	火山活動解説資料	4 日 21 時 10 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	その後の活動状況と現地調査結果
	火山の状況に関する解説情報第 4 号	5 日 16 時 40 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	その後の活動状況
	火山の状況に関する解説情報第 5 号	6 日 11 時 55 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	6 日 11 時 25 分に昭和火口で発生した爆発的噴火について
	火山の活動の状況に関する解説情報第 6 号	6 日 16 時 50 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	その後の活動状況
	火山活動解説資料	6 日 20 時 49 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	その後の活動状況と現地調査結果
	火山の状況に関する解説情報第 7 ~ 14 号	7 ~ 12 日、 15 日、18 日 16 時頃	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	その後の活動状況
	火山活動解説資料	8 日 21 時 17 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	その後の活動状況と現地調査結果
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	20 日 14 時 20 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	6 日 11 時 25 分の噴火以降、噴火の発生はなく、火山性地震及び火山性微動も少ない状態が続き、山体の膨張を示す地殻変動も観測されていないことから、噴火警戒レベルを 3 (入山規制) から 2 (火口周辺規制) に引き下げ
	火山活動解説資料	20 日 16 時 02 分	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	20 日 14 時 20 分発表の火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制) に関する解説

資料 2 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (2月29日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	吾妻山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	磐梯山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	浅間山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域危険)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)	
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報(レベル1、平常)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。

主な活火山とは連続的に監視を行っている火山をいう。

ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（ 2 ） その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

資料 3 第 109 回火山噴火予知連絡会コメント

平成 20 年 2 月 15 日、第 109 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会は、最近の全国の火山活動について委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめ、その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

第 109 回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成 19 年 10 月 16 日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

全国の主な火山活動

桜島では、本年 2 月 3 日 10 時 18 分と 15 時 54 分に昭和火口で爆発的噴火が発生したことから、噴火警戒レベルを 2 から 3 に引き上げました。その後 6 日 11 時 25 分にも昭和火口で爆発的噴火が発生し、火砕流が火口から東約 1.5km まで流下しました。以降、爆発的噴火の発生はなく、50～300m 程度の白色噴煙を断続的に上げている状況です。地震活動、地殻変動にも特段の変化は見られていません。今後しばらくの間は、火砕流を伴う噴火が発生する可能性がありますので、火口から 2 km 程度の範囲では噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。昭和火口の噴火活動は、2006 年 6 月の噴火以降、全体的には次第に活発化している傾向がみられており、火山活動の推移を注意深く監視する必要があります。

三宅島では、本年 1 月 7 日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、島の東から南東部で微量の降灰を確認しました。多量の火山ガス放出は当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想され、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

雌阿寒岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 1 月 9 日から 10 日にかけて、体に感じない程度の小さな火山性地震が多発しました。その後しばらくの間はやや多い状態で経過しましたが、2 月 5 日以降は静穏な状態に戻っています。
- ・ この地震活動は、2006 年 3 月のごく小さな噴火に先行した活動に比べると地震の振幅は小さく、火山性微動も観測されていません。

- ・ 噴煙の状況や地殻変動に特段の変化はありません。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

樽前山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続いていますが、火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

倶多楽 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

有珠山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ GPS 観測で山体の膨張を示すわずかな伸びは引き続き観測されていますが、噴気活動や地震活動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

恵山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

岩木山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

岩手山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 岩手山山頂東側のやや深い所（約 10km 前後）を震源とする低周波地震が昨年 8 月頃から増加傾向にあり、本年 1 月はさらに増加しましたが、浅部の火山性地震は少ない状態が続いています。
- ・ 傾斜計などによる地殻変動観測では変化は認められません。
- ・ 表面現象など浅部での火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

栗駒山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

吾妻山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

安達太良山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [噴火予報（平常）]

- ・ 地震活動、噴気活動は低調な状態で、地殻変動観測でも特段の変化は認められず、火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

那須岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

草津白根山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 昨年 11 月 22 日から 23 日にかけて湯釜の南側の浅い所で地震がやや増加しましたが、その他の観測データに特段の変化の変化はありませんでした。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

浅間山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

新潟焼山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

焼岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御嶽山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

白山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

富士山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

箱根山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆東部火山群 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆大島

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・ 地震活動及び三原山の熱活動は低調な状態が続いています。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・ 本年 1 月 7 日 06 時 54 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、島の東から南東部で微量の降灰を確認しました。
- ・ 二酸化硫黄放出量は一日あたり 1 千～ 3 千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・ 地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化は見られません。
- ・ 引き続き三宅島では、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されます。火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
- ・ 多量の火山ガス放出が続いており、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

八丈島 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・ 島全体が大きく隆起する地殻変動は昨年 11 月頃に鈍化したものの現在も継続しています。
- ・ 地震活動は昨年 11 月頃以降、落ち着いた状態となっています。
- ・ 昨年 12 月 19 日から 20 日にかけての夜間に、硫黄島西部の阿蘇台にある陥没孔で熱泥水が噴出した痕跡が確認されました。
- ・ 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

硫黄島の火山名の呼称を平成 19 年 11 月 22 日より「いおうじま（Iojima）」から「いおうとう（Ioto）」に変更しました。

福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・ 変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

九重山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

阿蘇山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 孤立型微動は昨年 8 月頃から一日あたり概ね 200 回を超える状態で経過し、本年 1 月 29 日以降は一日あたり 300 回以上に増加していますが、その他の観測結果に変化はありません。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
- ・ 南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約 6 km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

雲仙岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山

新燃岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 昨年 12 月 14 日から 15 日にかけて火山性地震がやや増加しましたが、それ以外は少ない状態で経過しました。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御鉢

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

平成 20 年 2 月 3 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）から火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）に引き上げました。

- ・ 昭和火口では 2 月 3 日 0 時 39 分にごく小規模な噴火が発生しました。その後、10 時 18 分と 15 時 54 分に爆発的噴火が発生したことから、噴火警戒レベルを 2 から 3 に引き上げました。
- ・ 3 日 10 時 18 分の噴火では灰色の噴煙が火口縁上 1,500m で雲に入り、噴石が 4 合目（火口から 1 km 程度）まで飛散しました。また、15 時 54 分の噴火では噴煙が 500m まで上がり、火砕流が火口から東約 1.0km まで流下しました。
- ・ 6 日 10 時 33 分と 11 時 25 分に爆発的噴火が発生し、11 時 25 分の噴火では噴煙が火口縁上 1,000m で雲に入り、噴石を 5 合目（火口から 500m 程度）まで飛散させました。また、火砕流が火口から東約 1.5km まで流下しました。
- ・ 南岳山頂火口では昨年 10 月以降 4 回の爆発的噴火があり、昨年 10 月 29 日の噴火では噴煙が火口縁上 2,400m まで上がりました。
- ・ 火山性地震は昨年 10 月下旬から 12 月にかけてやや増加しましたが、その後は少ない状態で経過し、噴火発生後も特段の変化はなく少ない状態で経過しています。火山性微動は昨年 10 月下旬から本年 1 月にかけてやや増加しましたが、その後は少ない状態で経過し、噴火発生後も特段の変化はなく少ない状態で推移しています。
- ・ GPS 及び水準測量による地殻変動観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が続いています。また、今回の昭和火口からの噴火は、2006 年及び 2007 年と比べ規模が大きくなりより爆発的になってきており、次第に活発化している傾向が見られます。
- ・ 今後、始良カルデラの地下深部のマグマ溜まりから、多量のマグマが桜島直下へ移動・上昇し、火山活動が活発化する可能性があります。現在のところ、多量のマグマが桜島直下に移動・上昇したこと示す観測データは認められていませんが、地震活動や地殻変動などの観測データを含め、火山活動の推移を注意深く監視する必要があります。また、地震活動や地殻変動に特段変化がない場合でも、噴火

が発生する場合がありますので、噴火現象に対する監視も必要です。

- ・ 今回の噴火活動については、今後しばらくの間は、火砕流を伴う噴火が発生する可能性がありますので、火口から 2 km 程度の範囲では噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び火山れき（小さな噴石）に注意して下さい。降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・ 硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、火山性地震もやや多い状態が続いています。
- ・ 硫黄岳火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

口永良部島

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

平成 20 年 1 月 25 日火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を解除しました。

- ・ 火山性地震は昨年 9 月頃より、減少傾向にあります。火山性微動も少ない状態で経過しています。
- ・ 火山活動は静穏な状況となり、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

諏訪之瀬島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・ ^{おたけ}御岳火口では爆発的噴火があったほか、小規模な噴火が時々発生するなど、噴火活動が継続しています。
- ・ ^{としまむら}十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時々少量の降灰が確認されました。
- ・ 御岳火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

その他の活火山

以下の活火山では、いずれも火山活動は静穏な状況が続いています。

- 1 . 北海道地方
知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
- 2 . 東北地方
恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
- 3 . 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島
高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
- 4 . 中国・九州地方及び南西諸島
三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

世界の主な地震

2008 年 2 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

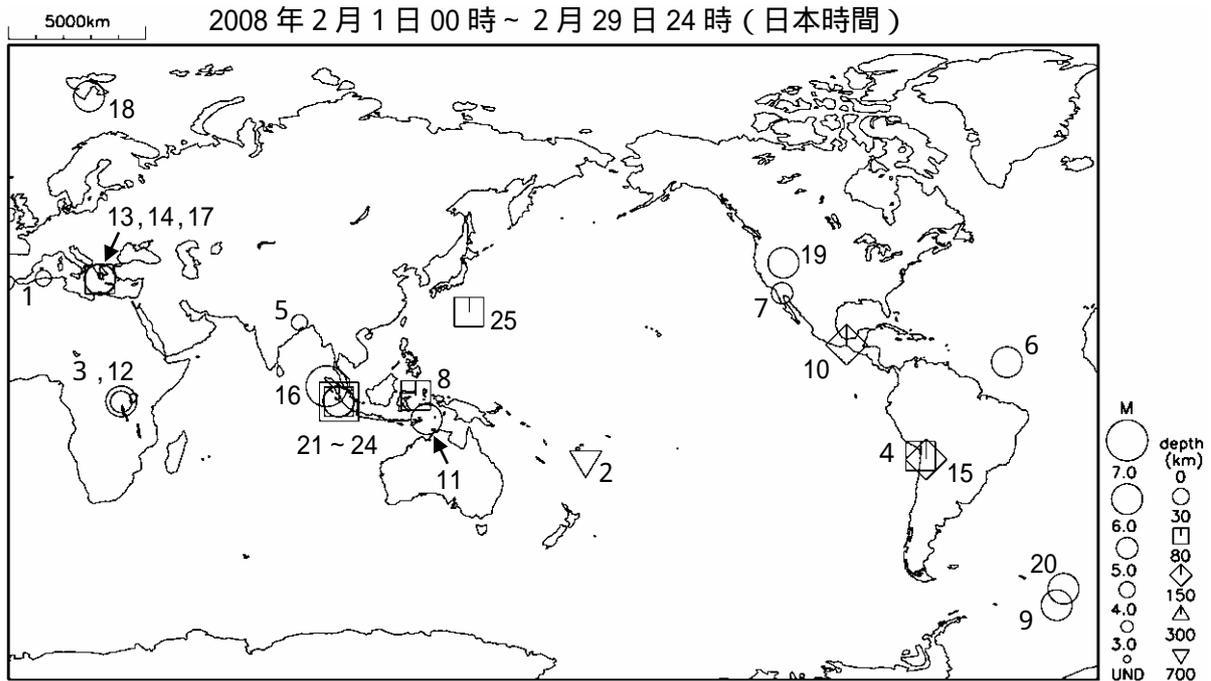


図 1 2008 年 2 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

*** : 日本付近で発生した地震については、震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

表 1 2008 年 2 月に世界で発生したマグニチュード 6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考（被害状況など）
1	02月01日 16時33分	N36° 49.5'E 3° 28.3'		10	4.6			アルジェリア北部	負傷者 3 人
2	02月01日 21時10分	S21° 22.8'W179° 25.6'		623			6.0	フィジー諸島	
3	02月03日 16時34分	S 2° 17.5'E 28° 55.0'		17	6.0	5.8	5.9	タンガニーカ湖	死者38人、負傷者717人、 建物被害914棟
4	02月05日 02時01分	S20° 08.2'W 70° 01.7'		33	6.0	6.4	6.3	チリ北部沿岸	
5	02月06日 15時09分	N23° 28.1'E 87° 06.9'		10	4.3			インド南部	死者 1 人、負傷者 50 人以上、 建物被害多数
6	02月08日 18時38分	N10° 43.5'W 41° 53.8'		9			6.9	大西洋中央海嶺北部	
7	02月09日 16時12分	N32° 27.3'W115° 18.9'		3	5.1			カリフォルニア州（米国）	橋梁軽被害など
8	02月10日 03時34分	S 0° 14.2'E125° 05.2'		38	5.9	5.6	6.0	モルッカ海南部	
9	02月10日 21時22分	S60° 45.4'W 25° 34.9'		8	6.4	6.5	6.5	サウスサンドウィッチ諸島	
10	02月12日 21時50分	N16° 24.9'W 94° 14.6'		83			6.4	メキシコ、オアハカ州	
11	02月14日 04時58分	S 8° 11.5'E128° 38.4'		10			6.2	ティモール海	
12	02月14日 11時07分	S 2° 24.1'E 28° 51.1'		10	5.4			タンガニーカ湖	死者 1 人、負傷者 109 人、建物被害
13	02月14日 19時09分	N36° 38.7'E 21° 50.1'		29			6.9	ギリシア南部	
14	02月14日 21時08分	N36° 26.1'E 21° 55.6'		28			6.2	ギリシア南部	
15	02月16日 23時45分	S21° 10.7'W 68° 14.9'		134			6.1	チリ-ボリビア国境	
16	02月20日 17時08分	N 2° 46.6'E 95° 58.3'		26			7.4	インドネシア、 スマトラ北部西方沖	死者 3 人、重傷者 25 人、TWI 発表 (p 37 参照)
17	02月21日 03時27分	N36° 34.9'E 21° 56.4'		35			6.1	ギリシア南部	
18	02月21日 11時46分	N77° 03.7'E 18° 23.4'		10			6.1	ノルウェー、スバルバル	
19	02月21日 23時16分	N41° 09.1'W114° 52.0'		7			6.0	米国、ネバダ州	負傷者 3 人以上、建物被害約 700 棟
20	02月24日 00時57分	S57° 04.3'W 23° 23.8'		10			6.7	サウスサンドウィッチ諸島	
21	02月24日 23時46分	S 2° 22.0'E 99° 56.9'		22	6.1	6.4	6.4	インドネシア、スマトラ南部	
22	02月25日 17時36分	S 2° 21.1'E100° 01.0'		35			7.0	インドネシア、スマトラ南部	TWI 発表 (p 37 参照)
23	02月26日 03時06分	S 2° 19.3'E 99° 55.6'		35	6.2		6.4	インドネシア、スマトラ南部	
24	02月26日 06時02分	S 2° 13.9'E 99° 49.6'		25			6.6	インドネシア、スマトラ南部	住家被害数棟
25	02月27日 15時54分	N26° 52.5'E142° 44.3'		38		(6.6)	6.2	父島近海	(p 8 参照)

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(2008年3月4日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード(Msの欄に括弧を付して記載)は気象庁による。
- ・震源時は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・TWIは気象庁がインド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報である(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)。

2 月 20 日、25 日 インドネシア、スマトラ島付近の地震

インドネシアのスマトラ島付近で次の地震が発生した。

2008 年 2 月 20 日 17 時 08 分（日本時間）深さ 26km^{*1} Mw7.4^{*2}

（インドネシアで死者 3 名、負傷者 25 名などの被害^{*1}、津波観測なし）

2008 年 2 月 25 日 17 時 36 分（日本時間）深さ 35km^{*1} Mw6.9^{*2}

（被害の報告なし、インドネシアのパダンで 0.1m の津波観測^{*3}）

これらの地震について、気象庁は「インド洋で局地的な津波発生の可能性あり」の旨の「インド洋津波監視情報」を、国内向けに「日本への津波の影響なし」の旨の「遠地地震に関する情報」を発表した。

これらの地震の発震機構（Global CMT 解）は、北東 - 南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの境界で発生した地震と考えられる。

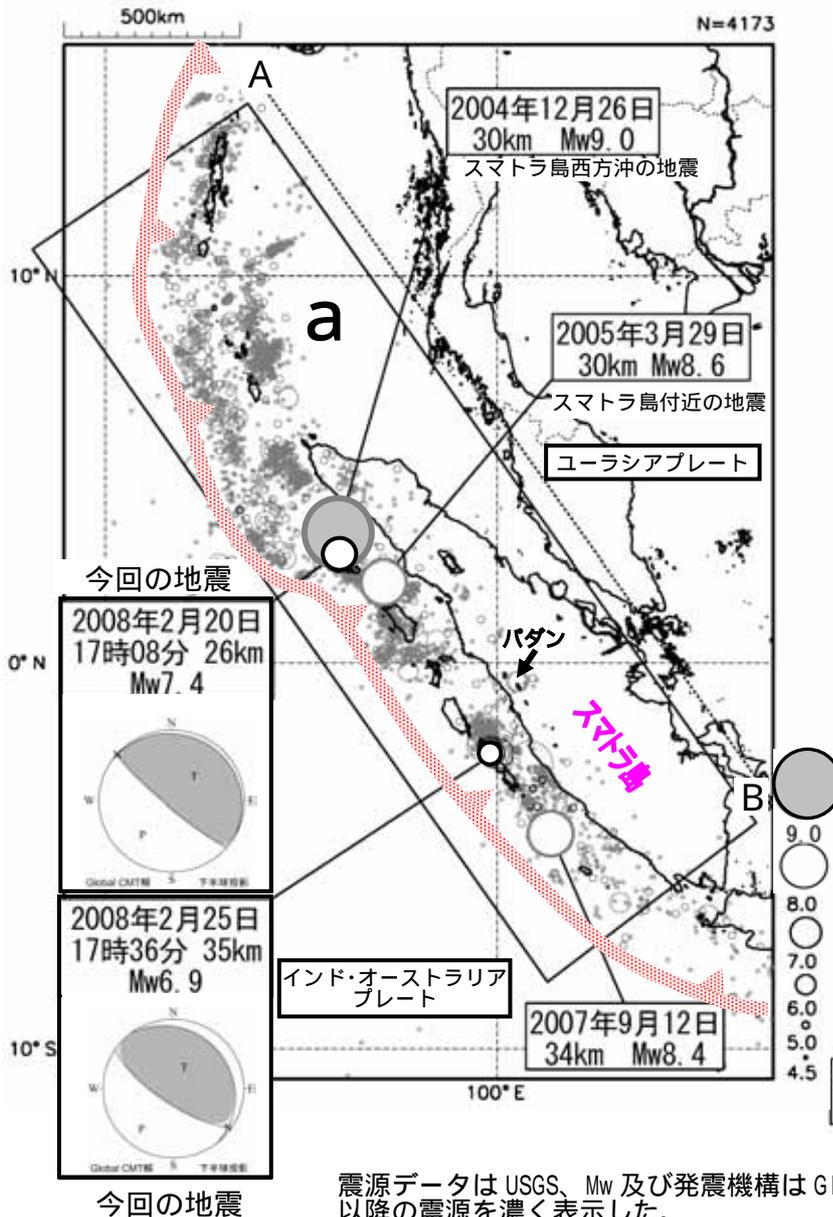
インドネシアのスマトラ島付近は、インド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートの下に沈み込んでいるところで、M 8 を越える地震が度々発生するなど地震活動が活発なところである。過去の地震活動を見ると、この地震の震源付近では 2004 年 12 月 26 日に Mw9.0^{*2} の地震が発生し、甚大な被害が発生している。この地震の震源付近では、1833 年 11 月 24 日に M8.7 の地震（被害不明）が発生している。

^{*1} 米国地質調査所[以下、USGS と表記]による（2 月 29 日現在）

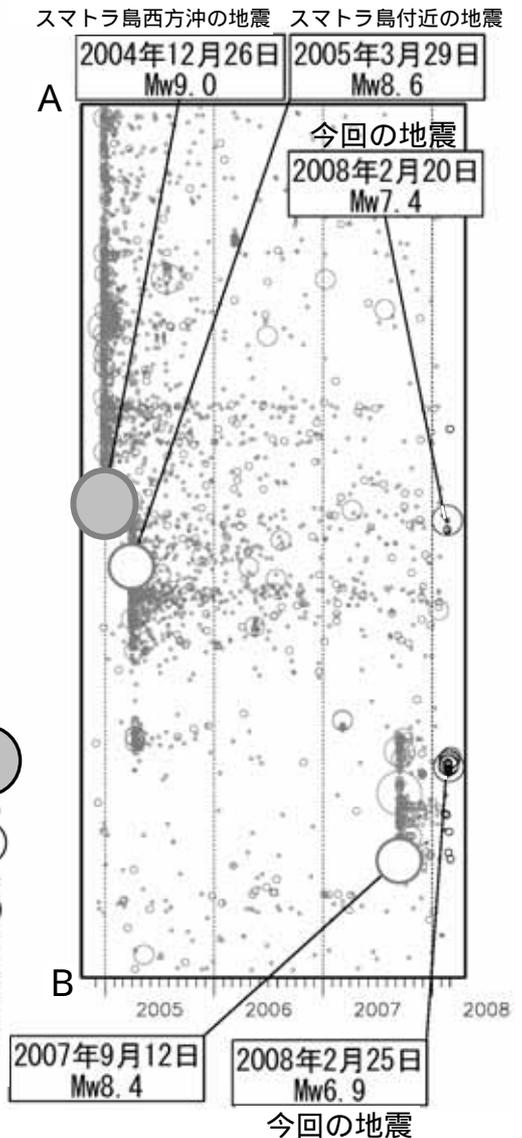
^{*2} Global CMT 解によるモーメントマグニチュード

^{*3} 太平洋津波警報センター（PTWC）による

震央分布図（2004 年 12 月 1 日～、M 4.5、深さ 100km 以浅）



領域 a 内の時空間分布図（A - B 投影）



震源データは USGS、Mw 及び発震機構は Global CMT 解による。2008 年 2 月 1 日以降の震源を濃く表示した。

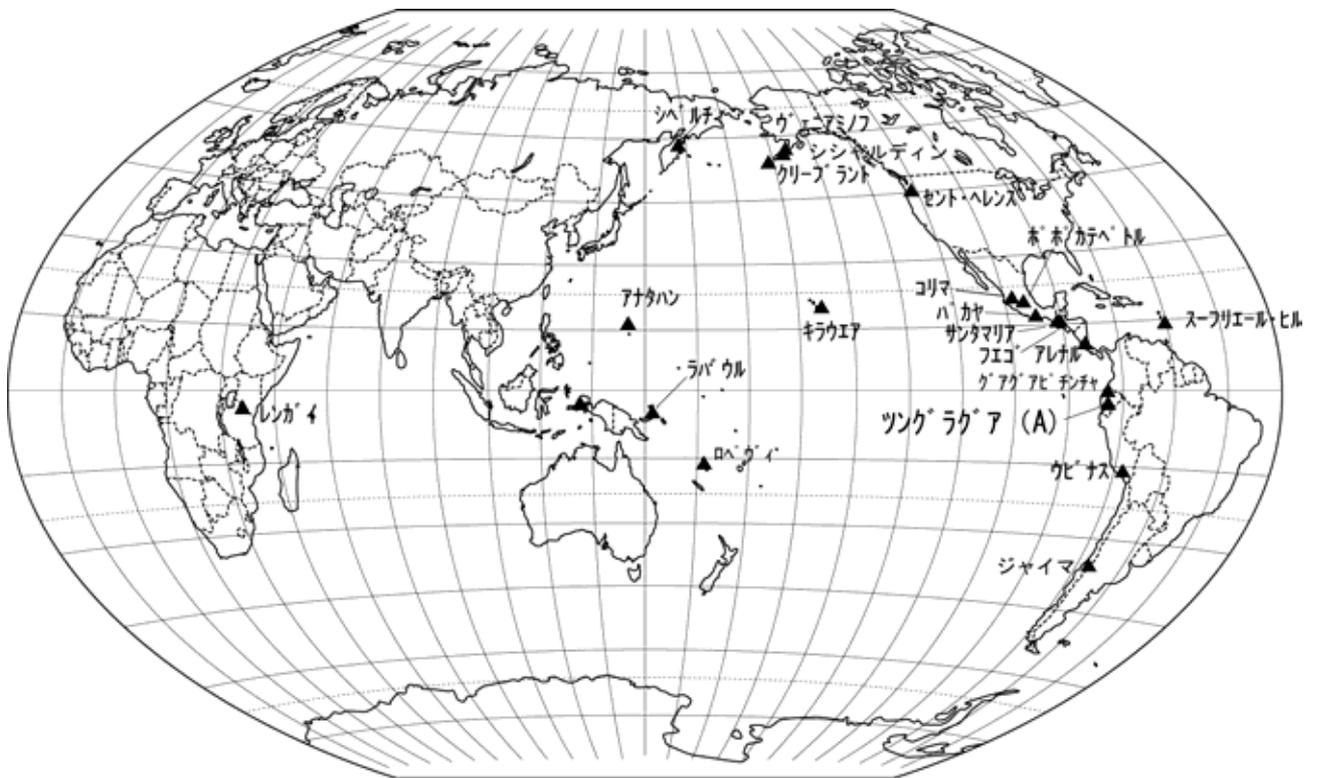
世界の主な火山活動

平成 20 年（2008 年）2 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。このうち、顕著な活動が見られた主な火山は以下のとおりである。

ツングラグア（エクアドル）（図中A）

活発な噴火活動が続いている。7 日から 11 日にかけては噴煙高度が 10,000m に達した。火砕流も発生し、噴石が火口から約 3.5km まで飛散した。また、風下側では降灰があった。これらの活動により数百から二千人がの住民が避難した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



付表 1 . 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 01 19	北海道西方沖 北海道 1 苫前町旭 * \approx 1.1	44° 14.0' N	141° 34.3' E	0km	M: 2.3
2	1 13 48	根室支庁南部 北海道 1 別海町西春別 * \approx 1.4 別海町常盤=1.1 別海町本別海 * \approx 1.1 根室市牧の内 * \approx 0.9 根室市厚床 * \approx 0.9 標津町北2条 * \approx 0.6	43° 15.5' N	145° 17.7' E	76km	M: 3.7
3	1 16 57	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市男野芝丁=1.1 和歌山市一番丁 * \approx 1.0	34° 12.3' N	135° 04.7' E	10km	M: 3.0
4	1 17 03	静岡県西部 岐阜県 静岡県 愛知県 1 恵那市上矢作町 * \approx 1.0 1 新居町浜名 * \approx 0.8 1 豊田市足助町 * \approx 0.8 新城市作手高里 * \approx 0.5	34° 48.1' N	137° 42.5' E	32km	M: 3.1
5	1 23 40	紀伊水道 和歌山県 3 和歌山市一番丁 * \approx 2.6 2 和歌山市男野芝丁=2.2 海南市日方 * \approx 1.5 1 海南市下津 * \approx 1.0 有田市初島町 * \approx 1.0 紀の川市粉河=0.9 紀美野町下佐々 * \approx 0.9 湯浅町湯浅 * \approx 0.8 紀の川市桃山町元 * \approx 0.8 紀の川市貴志川町神戸 * \approx 0.8 有田市箕島=0.5 和歌山広川町広 * \approx 0.5 大阪府 奈良県 1 大阪岬町深日 * \approx 1.3 泉南市男里 * \approx 0.8 泉南市消防本部 * \approx 0.7 阪南市尾崎町 * \approx 0.5 1 五條市二見 * \approx 0.8	34° 12.4' N	135° 04.8' E	10km	M: 3.4
6	2 07 02	宮城県沖 宮城県 1 南三陸町歌津 * \approx 0.5	38° 48.4' N	142° 00.8' E	46km	M: 3.1
7	2 13 07	茨城県沖 茨城県 2 ひたちなか市南神敷台 * \approx 2.2 日立市助川小学校 * \approx 2.1 水戸市金町=1.9 日立市役所 * \approx 1.9 水戸市千波町 * \approx 1.8 鉾田市当間 * \approx 1.7 1 水戸市中央 * \approx 1.4 那珂市福田 * \approx 1.3 城里町石塚 * \approx 1.2 石岡市柿岡=1.2 茨城町小堤 * \approx 1.1 常陸大宮市北町 * \approx 1.1 小美玉市堅倉 * \approx 1.1 笠間市中央 * \approx 1.0 ひたちなか市東石川 * \approx 1.0 高萩市安良川 * \approx 0.9 土浦市下高津 * \approx 0.9 かすみがうら市上土田 * \approx 0.9 鉾田市鉾田=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 常陸太田市金井町 * \approx 0.8 茨城鹿嶋市宮中 * \approx 0.7 高萩市本町 * \approx 0.7 大子町池田 * \approx 0.7 土浦市大岩田=0.7 つくば市谷田部 * \approx 0.6 大洗町磯浜町 * \approx 0.6 東海村東海 * \approx 0.6 筑西市舟生=0.6 桜川市羽田 * \approx 0.6 栃木県 2 茂木町小井戸 * \approx 2.2 1 宇都宮市中里町 * \approx 1.2 茂木町茂木 * \approx 1.2 栃木那珂川町馬頭 * \approx 1.0 大田原市湯津上 * \approx 0.9 那須烏山市中央=0.9 市貝町市塙 * \approx 0.7 日光市中宮祠=0.7 日光市鬼怒川温泉大原 * \approx 0.6 宇都宮市明保野町=0.6 真岡市田町 * \approx 0.6 益子町益子=0.5 小山市神鳥谷 * \approx 0.5 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=1.2 白河市郭内=1.0 浅川町浅川 * \approx 1.0 泉崎村泉崎 * \approx 1.0 白河市東 * \approx 0.9 玉川村小高 * \approx 0.9 平田村永田 * \approx 0.9 天栄村下松本 * \approx 0.9 白河市新白河 * \approx 0.9 郡山市開成 * \approx 0.6 郡山市湖南町 * \approx 0.6 矢祭町東館館本 * \approx 0.6 葛尾村落合関下 * \approx 0.5 群馬県 1 沼田市利根町 * \approx 0.8	36° 13.2' N	141° 02.8' E	45km	M: 4.3
8	2 14 54	神奈川県東部 東京都 2 八王子市堀之内 * \approx 2.0 1 町田市中町 * \approx 1.1 東京練馬区東大泉 * \approx 1.1 町田市忠生 * \approx 1.0 東京府中市宮西町 * \approx 0.9 立川市錦町 * \approx 0.8 日野市神明 * \approx 0.7 東京中野区中野 * \approx 0.7 東京品川区平塚 * \approx 0.6 狛江市和泉本町 * \approx 0.6 国立市富士見台 * \approx 0.5 東京千代田区大手町=0.5 三鷹市野崎 * \approx 0.5 神奈川県 1 川崎麻生区片平 * \approx 1.3 相模原市上溝 * \approx 1.1 相模原市中央=1.0 相模原市相原 * \approx 0.6 川崎宮前区宮前平 * \approx 0.6 綾瀬市深谷 * \approx 0.5 川崎多摩区登戸 * \approx 0.5	35° 38.6' N	139° 32.2' E	24km	M: 2.9
9	3 02 56	宮崎県北部山沿い 高知県 宮崎県 1 宿毛市桜町 * \approx 0.5 1 宮崎都農町役場 * \approx 0.9 西都市上の宮 * \approx 0.8 延岡市北川町川内名白石 * \approx 0.8 延岡市古城町 * \approx 0.5 高鍋町上江 * \approx 0.5	32° 30.6' N	131° 04.1' E	144km	M: 4.0
10	3 15 36	国後島付近 北海道 1 根室市瑠璃瑠 * \approx 0.7 根室市落石東 * \approx 0.5	43° 31.0' N	146° 03.4' E	100km	M: 3.8

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
11	4 19 57	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東 * =0.5 根室市瑛瑠瑠 * =0.5	43° 24.3' N	147° 14.3' E	47km	M: 4.5
12	5 11 41	長野県南部 長野県 静岡県 1 天龍村天龍小学校 * =0.6 1 川根本町東藤川 * =0.6	35° 22.2' N	137° 59.4' E	9km	M: 2.8
13	5 12 52	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能 * =0.5	37° 10.9' N	136° 39.3' E	11km	M: 2.8
14	6 01 03	種子島近海 鹿児島県 1 屋久島町宮之浦 * =0.8	30° 27.6' N	130° 47.6' E	60km	M: 3.1
15	6 01 53	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =0.5	34° 53.4' N	137° 59.0' E	16km	M: 2.7
16	6 02 08	釧路支庁中南部 北海道 2 根室市落石東 * =2.4 標茶町塘路 * =1.6 1 根室市厚床 * =1.3 別海町常盤 * =1.2 厚岸町尾幌 * =1.2 根室市瑛瑠瑠 * =1.2 根室市牧の内 * =1.0 別海町本別海 * =0.9 鶴居村鶴居東 * =0.9 別海町西春別 * =0.8 標茶町川上 * =0.5 標津町北 2 条 * =0.5	43° 02.7' N	144° 56.7' E	94km	M: 3.9
17	6 09 20	千葉県南東沖 千葉県 1 鴨川市横渚 * =0.6	34° 57.7' N	140° 07.7' E	109km	M: 3.7
18	7 03 12	三宅島近海 東京都 1 御蔵島村 =0.8	33° 50.0' N	139° 26.1' E	22km	M: 3.7
19	7 10 32	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市千厩町 * =0.6 一関市室根町 * =0.6 1 南三陸町歌津 * =0.6	38° 50.1' N	141° 36.5' E	73km	M: 3.1
20	7 11 50	石川県能登地方 石川県 2 輪島市門前町走出 =1.6 1 穴水町大町 * =1.2 輪島市鳳至町 =0.8	37° 18.7' N	136° 46.0' E	11km	M: 3.4
21	7 20 18	鳥取県西部 鳥取県 鳥根県 岡山県 1 鳥取日野町根雨 * =0.9 1 安来市島田町 * =0.7 1 真庭市美甘 * =1.3	35° 17.4' N	133° 20.2' E	14km	M: 2.8
22	7 21 25	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町 * =0.7 一関市千厩町 * =0.5 1 南三陸町歌津 * =0.5	38° 52.6' N	141° 37.2' E	72km	M: 3.0
23 (注)	7 23 08 7 23 08	三宅島近海 三宅島近海 東京都 1 御蔵島村 =0.7 三宅村坪田 =0.6	33° 48.3' N 33° 49.8' N	139° 21.7' E 139° 24.9' E	18km 24km	M: 3.6 M: 3.3
24	8 12 21	愛媛県東予 徳島県 2 徳島三好市池田総合体育館 =1.6	33° 56.8' N	133° 41.3' E	8km	M: 3.2
25	9 07 07	茨城県沖 福島県 3 棚倉町棚倉中居野 =2.5 2 田村市都路町 * =2.3 白河市新白河 * =2.2 浅川町浅川 * =2.1 いわき市錦町 * =2.1 白河市表郷 * =2.0 玉川村小高 * =2.0 いわき市小名浜 =2.0 須賀川市岩瀬支所 * =1.9 二本松市針道 * =1.9 葛尾村落合関下 * =1.9 中島村滑津 * =1.9 檜葉町北田 * =1.8 川内村下川内 =1.8 双葉町新山 * =1.8 白河市東 * =1.7 天栄村下松本 * =1.7 浪江町幾世橋 =1.7 郡山市開成 * =1.7 猪苗代町千代田 * =1.7 会津若松市古川町 * =1.6 富岡町本岡 * =1.6 平田村永田 * =1.6 大熊町野上 * =1.6 大熊町下野上 * =1.6 いわき市三和町 =1.6 石川町下泉 * =1.6 西郷村熊倉 * =1.6 川俣町五百田 * =1.5 古殿町松川 * =1.5 田村市船引町 =1.5 須賀川市八幡山 * =1.5 本宮市本宮 * =1.5 須賀川市八幡町 * =1.5 泉崎村泉崎 * =1.5 いわき市平四ツ波 * =1.5 須賀川市長沼支所 * =1.5 いわき市平梅本 * =1.5 白河市郭内 =1.5 二本松市郭内 * =1.5 郡山市湖南町 * =1.5 1 福島市五老内町 * =1.4 二本松市油井 * =1.4 鏡石町不時沼 * =1.4 小野町小野新町 * =1.4 田村市滝根町 * =1.4 葛尾村落合落合 * =1.4 南相馬市小高区 * =1.4 猪苗代町城南 =1.4 福島広野町下北迫大谷地原 * =1.3 矢祭町東館本 * =1.3 小野町中通 * =1.3 大玉村曲藤 =1.3 郡山市朝日 =1.3 田村市大越町 * =1.3 本宮市糠沢 * =1.2 白河市八幡小路 * =1.2 川内村上川内小山平 * =1.2 二本松市金色 * =1.2 飯館村伊丹沢 * =1.2 国見町藤田 * =1.2 大玉村玉井 * =1.2 塙町塙 * =1.2 福島市松木町 =1.2 福島市桜木町 * =1.2 白河市大信 * =1.1 矢吹町一本木 * =1.1 下郷町塩生 * =1.1 田村市常葉町 * =1.0 相馬市中村 * =1.0 三春町大町 * =1.0 福島広野町下北迫苗代替 * =1.0 棚倉町棚倉館ヶ丘 * =1.0 矢祭町東館下上野内 * =1.0 飯野町飯野 * =0.9 会津美里町新鶴庁舎 * =0.9 会津美里町本郷庁舎 * =0.8 鮫川村赤坂中野 * =0.8 福島伊達市前川原 * =0.8 新地町谷地小屋 * =0.8 福島伊達市梁川町 * =0.8 南相馬市原町区高見町 * =0.8 南相馬市鹿島区 * =0.8 南相馬市原町区三島町 =0.7 福島伊達市月館町 * =0.7 下郷町高崎 * =0.5	36° 44.1' N	141° 12.3' E	46km	M: 4.9

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		茨城県 3 常陸太田市高柿町*2.7 桜川市岩瀬*2.6 鉾田市当間*2.6 2 日立市助川小学校*2.3 日立市役所*2.3 常陸大宮市野口*2.3 日立市十王町友部*2.1 水戸市内原町*2.0 城里町石塚*2.0 小美玉市堅倉*2.0 つくば市谷田部*2.0 鉾田市汲上*1.9 高萩市安良川*1.9 笠間市石井*1.9 笠間市中央*1.8 ひたちなか市南神敷台*1.8 那珂市瓜連*1.8 城里町阿波山*1.8 北茨城市磯原町*1.8 茨城町小堤*1.7 那珂市福田*1.7 常陸太田市金井町*1.7 水戸市金町*1.7 小美玉市上玉里*1.6 水戸市中央*1.6 守谷市大柏*1.6 坂東市山*1.6 筑西市舟生*1.6 東海村東海*1.6 常陸大宮市北町*1.6 常陸太田市町屋町*1.5 石岡市八郷*1.5 茨城鹿嶋市鉢形*1.5 茨城鹿嶋市宮中*1.5 筑西市門井*1.5 桜川市羽田*1.5 鉾田市鉾田*1.5 水戸市千波町*1.5 1 ひたちなか市東石川*1.4 常陸大宮市中富町*1.4 小美玉市小川*1.4 土浦市下高津*1.4 石岡市柿岡*1.4 取手市寺田*1.4 行方市山田*1.4 つくばみらい市加藤*1.4 土浦市大岩田*1.3 土浦市藤沢*1.3 つくば市天王台*1.3 美浦村受領*1.3 かすみがうら市上土田*1.3 常陸太田市大中町*1.3 桜川市真壁*1.3 大子町池田*1.3 常陸大宮市山方*1.3 常陸大宮市高部*1.3 石岡市石岡*1.2 下妻市鬼怒*1.2 坂東市馬立*1.2 稲敷市江戸崎甲*1.2 稲敷市役所*1.2 稲敷市結佐*1.2 筑西市海老ヶ島*1.2 鉾田市造谷*1.2 常総市水海道諏訪町*1.2 つくばみらい市福田*1.2 常陸大宮市上小瀬*1.2 潮来市辻*1.1 行方市麻生*1.1 下妻市本城町*1.1 筑西市下山*1.1 つくば市小莖*1.1 取手市井野*1.0 取手市藤代*1.0 行方市甲*1.0 結城市結城*1.0 かすみがうら市大和田*1.0 阿見町中央*0.9 五霞町小福田*0.9 茨城古河市仁連*0.9 常陸太田市町田*0.9 稲敷市須賀津*0.9 牛久市中央*0.8 大洗町磯浜町*0.8 坂東市岩井*0.8 坂東市役所*0.8 城里町徳蔵*0.7 利根町布川*0.7 栃木県 2 大田原市湯津上*2.3 茂木町小井戸*2.2 市貝町市塙*2.0 栃木二宮町石島*1.9 益子町益子*1.9 那須烏山市中央*1.9 宇都宮市白沢町*1.6 栃木那珂川町小川*1.6 大田原市本町*1.5 那須町寺子*1.5 高根沢町石末*1.5 栃木那珂川町馬頭*1.5 1 宇都宮市明保野町*1.4 真岡市田町*1.4 真岡市荒町*1.4 大田原市黒羽田町*1.3 那須塩原市あたご町*1.3 小山市神鳥谷*1.3 那須塩原市鍋掛*1.1 那須塩原市共進社*1.1 茂木町茂木*1.1 芳賀町祖母井*1.1 下野市小金井*1.1 鹿沼市今宮町*1.0 那須烏山市大金*1.0 日光市鬼怒川温泉大原*1.0 宇都宮市中里町*1.0 足利市大正町*1.0 鹿沼市晃望台*0.9 栃木さくら市喜連川*0.9 那須烏山市役所*0.9 日光市中鉢石町*0.8 日光市今市本町*0.8 栃木市旭町*0.7 宇都宮市塙田*0.7 栃木藤岡町藤岡*0.6 足利市名草上町*0.6 日光市中宮祠*0.6 那須塩原市塩原庁舎*0.6 日光市瀬川*0.6 那須塩原市墓沼*0.5 千葉県 2 香取市佐原下川岸*1.5 1 印西市大森*1.4 香取市役所*1.3 千葉神崎町神崎本宿*1.2 成田市花崎町*1.2 旭市南堀之内*1.1 香取市佐原諏訪台*1.1 野田市鶴奉*1.1 本埜村笠神*1.1 香取市仁良*1.0 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 柏市旭町*1.0 野田市東宝珠花*0.9 印旛村瀬戸*0.9 多古町多古*0.8 千葉栄町安食台*0.8 成田市松子*0.7 東金市日吉台*0.7 芝山町小池*0.6 銚子市川口町*0.5 東金市東新宿*0.5 岩手県 宮城県 1 蔵王町円田*1.2 大河原町新南*1.2 村田町村田*1.2 丸森町鳥屋*1.2 角田市角田*1.2 岩沼市桜*1.2 石巻市桃生町*1.1 宮城県美里町木間塚*1.0 名取市増田*1.0 山元町浅生原*1.0 白石市亘理町*0.9 利府町利府*0.9 宮城川崎町前川*0.9 仙台宮城野区五輪*0.8 栗原市金成*0.8 大崎市松山*0.8 登米市迫町*0.8 大崎市古川三日町*0.7 亘理町下小路*0.7 登米市南方町*0.7 登米市中田町*0.6 仙台宮城野区苦竹*0.6 大崎市田尻*0.5 色麻町四蔵*0.5 柴田町船岡*0.5 南三陸町志津川*0.5 大衡村大衡*0.5 登米市登米町*0.5 登米市米山町*0.5 山形県 群馬県 1 米沢市林泉寺*0.5 1 桐生市元宿町*1.1 群馬千代田町赤岩*0.9 桐生市黒保根町*0.8 太田市西本町*0.8 沼田市利根町*0.8 桐生市新里町*0.8 邑楽町中野*0.7 桐生市織姫町*0.5 伊勢崎市今泉町*0.5 館林市城町*0.5 埼玉県 1 久喜市下早見*1.1 春日部市金崎*1.0 春日部市谷原新田*0.9 行田市南河原*0.8 久喜市青葉*0.8 熊谷市大里*0.7 埼玉美里町木部*0.7 吉見町下細谷*0.6 東松山市松葉町*0.6 深谷市花園*0.5 戸田市上戸田*0.5 長瀨町野上下郷*0.5 熊谷市妻沼*0.5 行田市本丸*0.5 東京都 1 東京杉並区桃井*1.1 東京杉並区高井戸*1.0 東京千代田区大手町*0.8 東京北区西ヶ原*0.7 東京荒川区東尾久*0.7 東京荒川区荒川*0.6 東京足立区神明南*0.6 東京葛飾区金町*0.6 武蔵野市吉祥寺東町*0.6 三鷹市野崎*0.6 町田市中町*0.6 東京港区南青山*0.5 東京中野区江古田*0.5 東京北区赤羽南*0.5 東京足立区伊興*0.5 神奈川県 1 綾瀬市深谷*0.5 26 10 09 37 千葉県南東沖 千葉県 3 館山市長須賀*2.6 南房総市白浜町白浜*2.5 2 大多喜町大多喜*2.2 館山市北条*2.2 南房総市谷向*2.1 鴨川市横渚*2.1 勝浦市墨名*2.1 鋸南町下佐久間*2.1 富津市下飯野*2.0 鴨川市八色*2.0 南房総市千倉町瀬戸*2.0 南房総市岩糸*2.0 君津市久留里市場*1.9 勝浦市新宮*1.9 いすみ市国府台*1.8 南房総市富浦町青木*1.7 いすみ市岬町長者*1.7 九十九里町片貝*1.6 千葉一宮町一宮*1.6 睦沢町下之郷*1.6 長生村本郷*1.6 市原市姉崎*1.6 東金市東岩崎*1.6 木更津市貝淵*1.6 東金市日吉台*1.5 南房総市上堀*1.5 君津市久保*1.5 浦安市猫実*1.5 1 東金市東新宿*1.4 鴨川市天津*1.4 いすみ市大原*1.4 木更津市役所*1.3 大網白里町大網*1.3 御宿町須賀*1.3 木更津市太田*1.2 多古町多古*1.2 白子町関*1.2 旭市南堀之内*1.1 山武市殿台*1.1 千葉中央区千葉市役所*1.1 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 長南町長南*1.0 茂原市道表*1.0 千葉中央区中央港*1.0 南房総市久枝*1.0 成田市花崎町*1.0 芝山町小池*0.9 山武市蓮沼八*0.9 南房総市和田町仁我満*0.9 横芝光町横芝*0.8 長柄町大津倉*0.6 東京都 3 伊豆大島町岡田*2.5					
		千葉県南東沖 千葉県 3 館山市長須賀*2.6 南房総市白浜町白浜*2.5 2 大多喜町大多喜*2.2 館山市北条*2.2 南房総市谷向*2.1 鴨川市横渚*2.1 勝浦市墨名*2.1 鋸南町下佐久間*2.1 富津市下飯野*2.0 鴨川市八色*2.0 南房総市千倉町瀬戸*2.0 南房総市岩糸*2.0 君津市久留里市場*1.9 勝浦市新宮*1.9 いすみ市国府台*1.8 南房総市富浦町青木*1.7 いすみ市岬町長者*1.7 九十九里町片貝*1.6 千葉一宮町一宮*1.6 睦沢町下之郷*1.6 長生村本郷*1.6 市原市姉崎*1.6 東金市東岩崎*1.6 木更津市貝淵*1.6 東金市日吉台*1.5 南房総市上堀*1.5 君津市久保*1.5 浦安市猫実*1.5 1 東金市東新宿*1.4 鴨川市天津*1.4 いすみ市大原*1.4 木更津市役所*1.3 大網白里町大網*1.3 御宿町須賀*1.3 木更津市太田*1.2 多古町多古*1.2 白子町関*1.2 旭市南堀之内*1.1 山武市殿台*1.1 千葉中央区千葉市役所*1.1 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 長南町長南*1.0 茂原市道表*1.0 千葉中央区中央港*1.0 南房総市久枝*1.0 成田市花崎町*1.0 芝山町小池*0.9 山武市蓮沼八*0.9 南房総市和田町仁我満*0.9 横芝光町横芝*0.8 長柄町大津倉*0.6 東京都 3 伊豆大島町岡田*2.5	34° 47.6' N	140° 14.2' E	95km	M: 5.0	

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 三宅村神着=2.3 伊豆大島町差木地=2.3 伊豆大島町波浮港 *=2.3 三宅村坪田=2.0 東京利島村=1.8 御蔵島村=1.7 国分寺市本多 *=1.7 新島村式根島=1.7 新島村本村 *=1.7 伊豆大島町元町=1.6 東京千代田区大手町=1.6 東京練馬区東大泉 *=1.6 八丈町三根=1.5 神津島村金長=1.5 1 東京大田区多摩川 *=1.4 東京大田区本羽田 *=1.4 東京世田谷区三軒茶屋 *=1.4 小金井市本町 *=1.4 神津島村役場 *=1.4 東京渋谷区宇田川町 *=1.3 東京杉並区桃井 *=1.3 八王子市堀之内 *=1.3 三鷹市野崎 *=1.3 町田市中町 *=1.3 東京江東区枝川 *=1.3 八丈町大賀郷金土川 *=1.3 武蔵野市吉祥寺東町 *=1.2 東京世田谷区世田谷 *=1.2 町田市志生 *=1.2 国分寺市戸倉=1.2 八丈町大賀郷西見=1.2 東京江戸川区中央=1.1 東大和市中央 *=1.1 東京江戸川区船堀 *=1.1 東京新宿区上落合 *=1.1 東京品川区平塚 *=1.1 東京大田区東京国際空港=1.1 東京新宿区百人町 *=1.0 東京港区芝公園 *=0.9 東京港区白金 *=0.9 町田市役所 *=0.9 東京文京区本郷 *=0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 東京杉並区高井戸 *=0.9 東京荒川区東尾久 *=0.9 東京足立区伊興 *=0.9 東京目黒区中央町 *=0.9 東京世田谷区中町 *=0.8 調布市小島町 *=0.8 東京北区赤羽南 *=0.8 東京荒川区荒川 *=0.8 東京江東区東陽 *=0.8 東京足立区千住 *=0.8 狛江市和泉本町 *=0.8 多摩市関戸 *=0.8 東京足立区神明南 *=0.8 東京品川区北品川 *=0.8 東京江東区森下 *=0.7 東京練馬区光が丘 *=0.7 東京新宿区歌舞伎町 *=0.7 東京品川区広町 *=0.7 青梅市日向和田 *=0.7 あきる野市伊奈 *=0.7 八王子市大横町=0.6 東京中野区中央 *=0.6 東京葛飾区立石 *=0.6 東京墨田区東向島 *=0.6 東京葛飾区金町 *=0.5 清瀬市中清戸 *=0.5 東京中野区江古田 *=0.5 東京江戸川区鹿骨 *=0.5 静岡県 3 熱海市網代=2.7 東伊豆町奈良本 *=2.7 2 伊豆の国市長岡 *=2.4 沼津市戸田 *=2.2 河津町田中 *=2.1 東伊豆町稲取 *=1.9 伊東市大原=1.8 伊豆の国市四日町 *=1.6 伊豆の国市田京 *=1.6 1 西伊豆町宇須 *=1.4 富士宮市弓沢町=1.4 富士宮市野中 *=1.4 御殿場市萩原=1.4 下田市東本郷 *=1.3 函南町平井 *=1.3 三島市東本町=1.3 牧之原市静波 *=1.3 熱海市泉 *=1.2 御殿場市役所 *=1.2 熱海市中央町 *=1.1 伊豆市市山 *=1.1 静岡清水町庭庭 *=1.1 熱海市水口町 *=1.0 伊豆市八幡 *=1.0 静岡清水区蒲原新田 *=1.0 下田市中 *=0.9 松崎町江奈 *=0.9 西伊豆町仁科 *=0.9 伊豆市小立野 *=0.9 長泉町中土狩 *=0.9 静岡清水区蒲原新栄 *=0.9 南伊豆町下賀茂 *=0.8 小山町藤曲 *=0.8 牧之原市相良 *=0.8 三島市大社町 *=0.7 下田市加増野=0.7 静岡菊川市赤土 *=0.7 沼津市御幸町 *=0.6 由比町北田 *=0.5 神奈川県 2 小田原市荻窪 *=2.4 川崎宮前区宮前平 *=2.2 神奈川二宮町中里 *=2.1 中井町比奈窪 *=2.1 三浦市城山町 *=2.0 秦野市曾屋=2.0 厚木市中町 *=2.0 厚木市山際 *=2.0 川崎川崎区宮前町 *=2.0 箱根町湯本 *=1.9 清川村煤ヶ谷 *=1.9 海老名市大谷 *=1.9 川崎川崎区千鳥町 *=1.9 南足柄市関本 *=1.9 愛川町角田 *=1.8 横浜中区山手町=1.8 厚木市飯山 *=1.8 伊勢原市下谷 *=1.8 相模原市田名 *=1.8 相模原市相原 *=1.8 綾瀬市深谷 *=1.7 小田原市久野=1.7 真鶴町真鶴 *=1.7 横浜中区山田町 *=1.7 川崎幸区戸手本町 *=1.7 厚木市長谷 *=1.7 平塚市浅間町 *=1.7 相模原市上溝 *=1.6 川崎中原区小杉町 *=1.6 厚木市三田 *=1.5 横須賀市光の丘=1.5 川崎川崎区中島 *=1.5 秦野市平沢 *=1.5 1 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.4 座間市緑が丘 *=1.4 相模原市津久井町中野 *=1.4 厚木市寿町 *=1.4 厚木市七沢 *=1.4 神奈川大井町金子 *=1.4 相模原市中央=1.3 相模原市大島 *=1.3 相模原市城山町久保沢 *=1.3 川崎中原区小杉陣屋=1.2 寒川町宮山 *=1.2 相模原市相模大野 *=1.2 松田町松田惣領 *=1.2 神奈川山北町山北 *=1.2 横浜旭区大池町 *=1.1 川崎宮前区野川 *=1.1 横須賀市坂本町 *=1.1 開成町延沢 *=1.0 鎌倉市由比ヶ浜 *=1.0 鎌倉市御成町 *=0.9 川崎高津区下作延 *=0.9 相模原市藤野町小淵 *=0.8 逗子市桜山 *=0.7 葉山町堀内 *=0.6 川崎麻生区万福寺 *=0.6 湯河原町宮上=0.6 山梨県 2 富士河口湖町長浜 *=2.0 上野原市役所 *=1.6 鯉沢町鯉沢小学校 *=1.5 忍野村忍草 *=1.5 1 山中湖村山中 *=1.4 増穂町天神中条 *=1.3 中央市大鳥居 *=1.3 大月市御太刀 *=1.3 西桂町小沼 *=1.3 富士河口湖町船津=1.3 中央市成島 *=1.1 都留市上谷 *=1.1 市川三郷町岩間 *=1.1 甲州市勝沼町勝沼 *=1.1 鳴沢村役場 *=1.0 富士河口湖町本栖 *=1.0 甲府市古閑町 *=1.0 南アルプス市寺部 *=1.0 南アルプス市鮎沢 *=1.0 上野原市上野原=1.0 道志村役場 *=1.0 富士河口湖町役場 *=0.9 笛吹市役所 *=0.9 甲州市役所 *=0.9 富士吉田市下吉田 *=0.9 身延町大磯小磯=0.8 小菅村役場 *=0.8 笛吹市境川町藤壘 *=0.7 甲州市塩山上於曾 *=0.7 甲府市相生 *=0.7 甲府市役所 *=0.7 昭和町押越 *=0.7 富士吉田市上吉田 *=0.6 甲州市大和町初鹿野 *=0.5 山梨北杜市明野町 *=0.5 甲州市塩山下於曾=0.5 茨城県 1 坂東市岩井=0.9 栃木県 1 茂木町小井戸 *=0.6 埼玉県 1 和光市広沢 *=1.2 狭山市入間川 *=1.0 草加市高砂 *=1.0 さいたま浦和区高砂=0.9 川越市旭町=0.8 埼玉三芳町藤久保 *=0.8 さいたま大宮区天沼町 *=0.8 春日部市谷原新田 *=0.8 久喜市下早見=0.7 戸田市上戸田 *=0.7 所沢市北有楽町 *=0.7 越谷市越ヶ谷 *=0.6 久喜市青葉 *=0.5 川島町平沼 *=0.5 長野県 1 佐久市中込 *=1.0 長野南牧村海ノ口 *=0.7 諏訪市高島 *=0.5 27 10 11 26 茨城県沖 36° 43.8' N 141° 11.6' E 46km M: 3.8 福島県 1 田村市都路町 *=1.1 浅川町浅川 *=0.9 白河市新白河 *=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 葛尾村落合閣下 *=0.6 いわき市平四ツ波 *=0.6 郡山市開成 *=0.5 茨城県 1 鉾田市当間 *=0.9 日立市助川小学校 *=0.8 高萩市安良川 *=0.6 常陸大宮市北町 *=0.6 栃木県 1 茂木町小井戸 *=1.4 28 10 17 04 岩手県内陸南部 39° 25.6' N 141° 05.0' E 128km M: 4.0 岩手県 2 陸前高田市高田町 *=1.8 一関市室根町 *=1.5 釜石市中妻町 *=1.5 1 住田町世田米 *=1.4 一関市千厩町 *=1.4 大船渡市大船渡町=1.3 北上市二子町 *=1.1 大船渡市猪川町=1.0 藤沢町藤沢 *=1.0 山田町大沢 *=0.9 大船渡市盛町 *=0.9 遠野市宮守町 *=0.9 遠野市松崎町 *=0.8 釜石市只越町=0.7 宮古市鎌ヶ崎=0.7 奥州市江刺区 *=0.7 大槌町新町 *=0.7 宮古市五月町 *=0.6 一関市大東町=0.6 盛岡市山王町=0.6 平泉町平泉 *=0.5 奥州市衣川区 *=0.5 川井村田代 *=0.5 宮城県 2 南三陸町歌津 *=1.8 気仙沼市唐桑町 *=1.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 石巻市桃生町 * =1.4 気仙沼市赤岩 * =1.3 気仙沼市笹が陣 * =1.2 登米市豊里町 * =1.1 宮城美里町北浦 * =0.9 石巻市門脇 * =0.9 本吉町津谷 * =0.8 大崎市松山 * =0.8 大崎市田尻 * =0.8 登米市中田町 * =0.8 石巻市北上町 * =0.8 石巻市泉町 * =0.7 登米市米山町 * =0.7 南三陸町志津川 * =0.7 登米市東和町 * =0.6 登米市南方町 * =0.6 栗原市金成 * =0.6 大崎市鹿島台 * =0.5 岩沼市桜 * =0.5 栗原市一迫 * =0.5 大崎市古川北町 * =0.5				
29	10 20 36	秋田県 1 由利本荘市岩城内道川 * =0.5 大崎市高梨 * =0.5	36° 19.3' N	140° 01.2' E	73km	M: 3.5
		茨城県南部 栃木県 1 日光市鬼怒川温泉大原 * =0.9 宇都宮市中里町 * =0.9 小山市神鳥谷 * =0.8 宇都宮市明保野町 * =0.7 栃木市旭町 * =0.6 佐野市中町 * =0.5 足利市名草上町 * =0.5 西方町本城 * =0.5				
30	10 23 39	千葉県南部 千葉県 2 大多喜町大多喜 * =2.0 勝浦市新官 * =1.5 1 勝浦市墨名 * =1.4 いすみ市国府台 * =1.2	35° 15.0' N	140° 20.2' E	15km	M: 2.9
31	10 23 43	千葉県南部 千葉県 2 大多喜町大多喜 * =1.7 1 勝浦市新官 * =0.7	35° 15.3' N	140° 20.1' E	14km	M: 2.6
32	10 23 57	千葉県南部 千葉県 3 大多喜町大多喜 * =3.2 勝浦市新官 * =2.5 2 勝浦市墨名 * =2.3 いすみ市国府台 * =2.2 千葉一宮町一宮 * =1.7 睦沢町下之郷 * =1.7 いすみ市岬町長者 * =1.7 いすみ市大原 * =1.5 1 御宿町須賀 * =1.1 君津市久留里市場 * =0.9 鴨川市八色 * =0.9 鴨川市横渚 * =0.8 茂原市道表 * =0.7 長南町長南 * =0.7 鴨川市天津 * =0.6 市原市姉崎 * =0.6 館山市長須賀 * =0.6 大網白里町大網 * =0.5	35° 14.8' N	140° 19.7' E	16km	M: 4.2
33	11 00 02	千葉県南部 千葉県 2 大多喜町大多喜 * =2.1 1 いすみ市国府台 * =1.1 勝浦市新官 * =0.8 勝浦市墨名 * =0.8 千葉一宮町一宮 * =0.7	35° 15.1' N	140° 20.4' E	15km	M: 3.2
34	11 00 04	千葉県南部 千葉県 2 大多喜町大多喜 * =1.6 1 勝浦市墨名 * =1.2 勝浦市新官 * =1.2 いすみ市国府台 * =0.8	35° 15.1' N	140° 20.3' E	14km	M: 2.8
35	11 00 16	千葉県南部 千葉県 2 大多喜町大多喜 * =1.9 1 いすみ市国府台 * =0.8 勝浦市新官 * =0.5	35° 15.5' N	140° 19.9' E	14km	M: 2.8
36	11 01 49	千葉県南部 千葉県 2 大多喜町大多喜 * =2.4 1 勝浦市墨名 * =1.4 いすみ市国府台 * =1.4 勝浦市新官 * =1.3 睦沢町下之郷 * =1.1 千葉一宮町一宮 * =0.9 いすみ市岬町長者 * =0.9	35° 14.9' N	140° 20.7' E	14km	M: 3.3
37	11 03 13	静岡県中部 静岡県 1 下田市中 * =0.6	35° 00.3' N	138° 25.9' E	24km	M: 2.5
38	11 03 46	埼玉県南部 茨城県 1 坂東市役所 * =1.2 坂東市岩井 * =1.1 土浦市下高津 * =1.0 坂東市馬立 * =1.0 鉾田市当間 * =0.9 つくばみらい市福田 * =0.9 つくば市小荳 * =0.9 取手市寺田 * =0.9 土浦市大岩田 * =0.8 常総市水海道諏訪町 * =0.6 つくば市谷田部 * =0.6 常陸大宮市北町 * =0.5 常総市新石下 * =0.5 牛久市中央 * =0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町 * =1.2 足利市名草上町 * =1.0 茂木町小井戸 * =0.6 鹿沼市晃望台 * =0.5 小山市神鳥谷 * =0.5 群馬県 1 桐生市元宿町 * =1.0 邑楽町中野 * =1.0 みどり市大間々町 * =0.8 桐生市新里町 * =0.8 太田市西本町 * =0.7 前橋市粕川町 * =0.5 太田市新田金井町 * =0.5 館林市美園町 * =0.5 沼田市利根町 * =0.5 埼玉県 1 桶川市泉 * =1.3 埼玉美里町木部 * =1.1 本庄市児玉町 * =1.0 東松山市松葉町 * =1.0 滑川町福田 * =1.0 川口市中青木分室 * =0.9 長瀬町野上下郷 * =0.8 春日部市金崎 * =0.7 上尾市本町 * =0.7 吉見町下細谷 * =0.6 久喜市下早見 * =0.5 熊谷市妻沼 * =0.5 東松山市市ノ川 * =0.5 東京都 1 東京千代田区大手町 * =1.1 武蔵野市吉祥寺東町 * =0.7	35° 59.4' N	139° 37.1' E	54km	M: 3.7
39	11 16 30	千葉県北西部 千葉県 1 市原市姉崎 * =1.1 千葉美浜区稲毛海岸 * =0.8 大多喜町大多喜 * =0.7 千葉中央区千葉市役所 * =0.7 東金市日吉台 * =0.7 東金市東岩崎 * =0.7 四街道市鹿渡 * =0.7 東金市東新宿 * =0.6 千葉中央区中央港 * =0.5 東京都 1 八王子市堀之内 * =1.1 東京大田区多摩川 * =1.1 東京千代田区大手町 * =1.0 東京中野区中野 * =1.0 東京大田区東京国際空港 * =0.9 東京世田谷区三軒茶屋 * =0.8 東京新宿区上落合 * =0.8 東京渋谷区宇田川町 * =0.7 東京葛飾区金町 * =0.7 東京新宿区百人町 * =0.7 東京品川区北品川 * =0.7 東京世田谷区世田谷 * =0.7 東京足立区千住 * =0.6 東京品川区平塚 * =0.6 東京杉並区桃井 * =0.6 狛江市和泉本町 * =0.5 東京文京区本郷 * =0.5 東京足立区伊興 * =0.5 東京葛飾区立石 * =0.5 東京目黒区中央町 * =0.5 東京江戸川区中央 * =0.5 三鷹市野崎 * =0.5 町田市中町 * =0.5 神奈川県 1 川崎川崎区宮前町 * =1.2 川崎幸区戸手本町 * =1.2 川崎中原区小杉町 * =1.1 川崎宮前区宮前平 * =0.8 川崎宮前区野川 * =0.8 川崎川崎区中島 * =0.6 三浦市城山町 * =0.6 相模原市上溝 * =0.6	35° 32.5' N	140° 08.3' E	64km	M: 3.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜中区山手町=0.5 横浜中区山田町 *=0.5				
40	11 18 13	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町 *=0.7	35° 58.9' N	137° 16.9' E	11km	M: 2.4
41	12 00 43	茨城県沖 福島県 2 檜葉町北田 *=1.6 田村市都路町 *=1.5 1 葛尾村落合閣下 *=1.3 古殿町松川 *=1.2 小野町小野新町 *=1.2 白河市新白河 *=1.1 小野町中通 *=1.1 田村市滝根町 *=1.0 平田村永田 *=0.9 いわき市三和町=0.9 浪江町幾世橋=0.9 玉川村小高 *=0.9 二本松市針道 *=0.8 福島広野町下北迫大谷地原 *=0.7 川内村下川内=0.7 田村市船引町=0.5 浅川町浅川 *=0.5 二本松市郭内 *=0.5 茨城県 2 日立市助川小学校 *=1.7 日立市十王町友部 *=1.7 高萩市安良川 *=1.7 1 高萩市本町 *=1.4 日立市役所 *=1.1 ひたちなか市南神敷台 *=0.9 水戸市千波町 *=0.8 ひたちなか市東石川 *=0.8 水戸市金町=0.8 桜川市羽田 *=0.7 石岡市柿岡=0.6 常陸大宮市北町 *=0.5 常陸大宮市山方 *=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.4 茂木町小井戸 *=1.3 鹿沼市晃望台 *=0.8 鹿沼市今宮町 *=0.7 日光市中鉢石町 *=0.6	36° 50.0' N	140° 49.6' E	86km	M: 3.7
42	12 03 42	和歌山県南部 和歌山県 1 白浜町日置 *=0.9 田辺市中屋敷町 *=0.6	33° 34.0' N	135° 28.0' E	35km	M: 2.9
43	12 08 06	滋賀県南部 滋賀県 1 高島市朽木柏 *=1.0 大津市北消防署志賀分署=0.8 高島市勝野 *=0.7 愛荘町安孫子 *=0.6 高島市安曇川町 *=0.5	35° 16.4' N	135° 57.7' E	13km	M: 2.9
44	12 17 39	滋賀県北部 岐阜県 2 揖斐川町東津汲 *=2.1 揖斐川町春日 *=1.7 1 揖斐川町東杉原 *=1.4 揖斐川町谷汲 *=1.4 揖斐川町西横山 *=1.2 揖斐川町三輪=0.7 本巣市根尾 *=0.6 岐阜山県市高木 *=0.6 養老町高田 *=0.5 瑞穂市宮田 *=0.5 滋賀県 1 高月町渡岸寺 *=1.2 長浜市内保町 *=1.1 長浜市公園町 *=0.9 木之本町木之本 *=0.9 湖北町速水 *=0.8 米原市顔戸 *=0.7 近江八幡市桜宮町=0.7 西浅井町大浦 *=0.6 高島市勝野 *=0.5 米原市長岡 *=0.5 長浜市高田町 *=0.5	35° 28.7' N	136° 22.2' E	15km	M: 3.4
45	13 06 05	択捉島南東沖 北海道 2 根室市落石東 *=2.2 1 別海町常盤=1.3 根室市瑤瑤瑠 *=1.3 別海町本別海 *=1.1 根室市牧の内 *=1.1 標津町北 2 条 *=1.1 根室市厚床 *=1.0 標茶町塘路 *=0.9 中標津町丸山 *=0.9 青森県 1 東通村小田野沢 *=0.8	44° 28.4' N	147° 53.0' E	139km	M: 4.9
46	13 08 35	宮城県沖 岩手県 2 藤沢町藤沢 *=2.1 大船渡市猪川町=2.0 陸前高田市高田町 *=2.0 一関市千厩町 *=1.7 北上市二子町 *=1.6 大船渡市大船渡町=1.5 奥州市衣川区 *=1.5 1 釜石市中妻町 *=1.4 住田町世田米 *=1.4 金ヶ崎町西根 *=1.3 一関市舞川=1.3 北上市柳原町=1.2 平泉町平泉 *=1.2 大船渡市盛町 *=1.1 一関市川崎町 *=1.1 一関市大東町=1.0 一関市花泉町 *=1.0 川井村田代 *=1.0 釜石市只越町=1.0 遠野市松崎町 *=0.9 遠野市宮守町 *=0.8 奥州市前沢区 *=0.8 奥州市胆沢区 *=0.8 花巻市大迫町=0.7 奥州市江刺区 *=0.7 花巻市東和町 *=0.6 山田町大沢 *=0.6 花巻市大迫総合支所 *=0.6 川井村川井 *=0.5 宮城県 2 南三陸町歌津 *=2.1 気仙沼市唐桑町 *=2.0 気仙沼市笹か陣 *=1.8 石巻市泉町=1.7 登米市中田町=1.5 石巻市北上町 *=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.4 涌谷町新町=1.3 南三陸町志津川=1.2 石巻市桃生町 *=1.2 栗原市栗駒=1.1 栗原市志波姫 *=1.1 石巻市門脇 *=1.1 栗原市金成 *=1.0 登米市豊里町 *=1.0 仙台青葉区作並 *=1.0 東松島市矢本 *=1.0 栗原市築館 *=0.9 本吉町津谷 *=0.9 登米市東和町 *=0.9 色麻町四竈 *=0.9 登米市登米町 *=0.9 登米市迫町 *=0.8 石巻市鮎川浜 *=0.8 大崎市田尻 *=0.8 岩沼市桜 *=0.8 栗原市高清水 *=0.7 栗原市一迫 *=0.7 東松島市小野 *=0.7 栗原市瀬峰 *=0.7 石巻市大瓜=0.7 名取市増田 *=0.6 角田市角田 *=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 女川町女川浜 *=0.6 栗原市花山 *=0.6 仙台宮城野区苦竹 *=0.6 栗原市篤沢 *=0.5 栗原市若柳 *=0.5 登米市米山町 *=0.5 登米市南方町 *=0.5 宮城美里町北浦 *=0.5 宮城美里町木間塚 *=0.5 大崎市古川三日町=0.5 福島県 1 葛尾村落合閣下 *=1.0 田村市都路町 *=0.9	38° 47.6' N	141° 37.4' E	71km	M: 4.0
47	13 18 14	広島県北部 島根県 1 邑南町淀原 *=0.5	34° 45.0' N	132° 23.1' E	14km	M: 2.8
48	13 20 16	和歌山県北部 和歌山県 2 海南市下津 *=1.8 紀美野町下佐々 *=1.5 1 有田市箕島=1.4 有田市初島町 *=1.2 海南市日方 *=0.5	34° 06.5' N	135° 11.2' E	6km	M: 2.8
49	14 14 29	青森県東方沖 北海道 1 函館市新浜町 *=0.5 青森県 1 東通村小田野沢 *=0.9 岩手県 1 盛岡市玉山区藪川 *=0.7	40° 44.7' N	142° 42.6' E	21km	M: 4.3
50	15 05 31	石川県能登地方 石川県 1 輪島市門前町走出=1.4 穴水町大町 *=0.9 輪島市鳳至町=0.5	37° 18.5' N	136° 46.4' E	11km	M: 3.0

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
51	17 03 15	茨城県沖 茨城県 福島県 栃木県	36° 17.2' N	140° 58.7' E	46km	M: 3.8
		2 銚田市当間 *=1.5 1 ひたちなか市南神敷台 *=1.4 日立市助川小学校 *=1.3 水戸市金町=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 茨城鹿嶋市宮中 *=0.9 銚田市汲上 *=0.9 日立市役所 *=0.8 高萩市安良川 *=0.8 大子町池田 *=0.6 土浦市下高津 *=0.6 水戸市千波町 *=0.5 1 玉川村小高 *=0.5 1 茂木町小井戸 *=0.8				
52	17 08 57	日向灘 宮崎県	32° 19.0' N	132° 06.9' E	21km	M: 3.5
		1 高鍋町上江 *=1.1 宮崎都農町役場 *=1.0				
53	17 18 25	紀伊水道 和歌山県 徳島県	33° 57.4' N	134° 48.3' E	41km	M: 3.3
		2 湯浅町湯浅 *=1.5 1 和歌山広川町広 *=1.0 御坊市藪=0.9 日高川町土生 *=0.9 由良町里 *=0.7 海南市下津 *=0.5 有田市初島町 *=0.5 1 阿南市山口町 *=0.8 美波町西の地 *=0.6				
54	18 00 40	日向灘 宮崎県 鹿児島県	31° 43.8' N	131° 47.9' E	45km	M: 4.0
		2 宮崎市松橋 *=1.7 高鍋町上江 *=1.6 国富町本庄 *=1.6 宮崎市霧島=1.5 1 宮崎市橘通東 *=1.2 高千穂町三田井=1.1 西都市上の宮 *=1.0 川南町川南 *=1.0 新富町上富田=0.9 西都市聖陵町 *=0.9 延岡市古城町 *=0.8 日南市吾田東 *=0.7 綾町南俣健康センター *=0.7 宮崎都農町役場 *=0.6 門川町本町 *=0.6 1 大崎町仮宿 *=0.5				
55	18 03 27	長野県南部 長野県 岐阜県	35° 48.7' N	137° 21.9' E	9km	M: 3.1
		1 王滝村役場 *=0.9 王滝村鈴ヶ沢 *=0.8 木曾町新開 *=0.7 木曾町日義 *=0.6 木曾町三岳 *=0.6 1 下呂市下呂小学校 *=1.2 中津川市加子母 *=1.2 下呂市小坂町 *=1.0 下呂市萩原町 *=0.9 下呂市森=0.9 高山市高根町 *=0.7 下呂市馬瀬 *=0.5				
56	18 05 58	長野県南部 岐阜県	35° 48.7' N	137° 21.8' E	9km	M: 3.0
		1 下呂市下呂小学校 *=0.9 下呂市小坂町 *=0.9 中津川市加子母 *=0.9 下呂市森=0.7				
57	18 09 34	長野県南部 長野県 岐阜県	35° 48.7' N	137° 21.9' E	9km	M: 2.9
		1 木曾町新開 *=0.5 1 中津川市加子母 *=1.2 下呂市下呂小学校 *=0.9 下呂市森=0.6				
58	18 11 18	浦河沖 北海道	42° 01.5' N	142° 34.8' E	63km	M: 3.7
		1 新ひだか町三石旭町 *=0.8				
59	18 12 25	長野県南部 岐阜県	35° 48.7' N	137° 22.0' E	9km	M: 2.2
		1 中津川市加子母 *=0.6				
60	20 06 51	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.9' N	135° 09.8' E	5km	M: 2.2
		1 和歌山市一番丁 *=1.0				
61	20 10 29	留萌支庁中北部 北海道	44° 09.7' N	141° 47.2' E	12km	M: 2.8
		1 小平町鬼鹿 *=1.3 苫前町旭 *=0.6				
62	20 16 03	青森県東方沖 青森県	41° 33.3' N	141° 57.0' E	49km	M: 3.2
		1 東通村小田野沢 *=0.5				
63	20 18 30	宮崎県北部山沿い 宮崎県	32° 13.0' N	131° 15.9' E	12km	M: 2.6
		1 西都市上の宮 *=0.6				
64	21 00 48	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 32.0' N	128° 47.7' E	11km	M: 3.4
		1 伊仙町伊仙 *=0.6				
65	21 09 00	長野県北部 長野県	36° 29.9' N	137° 49.7' E	3km	M: 1.4
		1 大町市役所=1.4 大町市大町図書館 *=0.7				
66	21 09 44	奈良県 和歌山県	34° 03.2' N	135° 39.6' E	51km	M: 3.1
		1 新宮市新宮=0.5				
67	21 14 18	択捉島南東沖 北海道	44° 28.2' N	148° 47.4' E	30km F	M: 5.3
		1 根室市落石東 *=1.1 別海町常盤=0.9 標津町北2条 *=0.8 中標津町丸山 *=0.7 白糠町西1条 *=0.7 別海町本別海 *=0.6 標茶町塘路 *=0.6 根室市瑛瑠瑠 *=0.5				
68	21 15 53	根室半島南東沖 北海道	43° 01.2' N	145° 54.8' E	72km	M: 4.2
		1 根室市厚床 *=0.7 根室市落石東 *=0.6 根室市瑛瑠瑠 *=0.5				
69	22 02 39	八丈島東方沖 東京都	33° 41.1' N	140° 42.6' E	55km	M: 5.0
		2 八丈町三根=2.2 八丈町大賀郷金土川 *=1.8 1 三宅村神着=1.4 八丈町大賀郷西見=1.2 御蔵島村=1.0 神津島村金長=0.9 東京千代田区大手町=0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		三宅村坪田=0.6 伊豆大島町岡田*=0.6 新島村式根島=0.5 伊豆大島町波浮港*=0.5 東京利島村=0.5 千葉県 1 館山市長須賀=1.4 鴨川市横渚*=0.9 鴨川市八色=0.8 市原市姉崎*=0.6 神奈川県 1 中井町比奈窪*=1.0 横浜中区山手町=0.9 横浜中区山田町*=0.8 三浦市城山町*=0.7 真鶴町真鶴*=0.6 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.1 河津町田中*=1.0 伊豆の国市長岡*=1.0 下田市東本郷*=0.8 松崎町宮内*=0.7 西伊豆町仁科*=0.5				
70	22 09 48	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*=1.3 根室市厚床*=0.8 標津町北2条*=0.8 別海町常盤=0.7 根室市瑛瑠瑠*=0.5	42° 54.4' N	145° 36.3' E	65km	M: 4.0
71	22 17 34	九州地方南東沖 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=0.5	31° 04.9' N	132° 11.0' E	60km	M: 3.9
72	22 20 27	福島県沖 福島県 2 田村市都路町*=2.3 川内村下川内=2.3 葛尾村落合閣下*=2.1 平田村永田*=2.0 本宮市糠沢*=2.0 檜葉町北田*=1.9 南相馬市小高区*=1.7 川内村上川内小平*=1.7 小野町小野新町*=1.6 浪江町幾世橋=1.6 葛尾村落合閣上*=1.5 田村市船引町=1.5 田村市滝根町*=1.5 田村市大越町*=1.5 小野町中通*=1.5 田村市常葉町*=1.5 本宮市本宮*=1.5 1 二本松市針道*=1.4 福島広野町下北迫大谷地原*=1.4 富岡町本岡*=1.4 大熊町下野上*=1.4 二本松市油井*=1.3 郡山市開成*=1.3 玉川村小高*=1.3 白河市新白河*=1.3 二本松市郭内*=1.2 いわき市三和町=1.2 二本松市金色*=1.2 川俣町五百田*=1.2 大熊町野上*=1.2 いわき市平梅本*=1.1 いわき市小名浜=1.1 郡山市朝日=1.1 いわき市平四ツ波*=1.1 天栄村下松本*=1.0 須賀川市岩瀬支所*=1.0 古殿町松川*=1.0 白河市郭内=1.0 須賀川市八幡山*=1.0 鏡石町不時沼*=1.0 いわき市錦町*=1.0 飯館村伊丹沢*=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 大玉村玉井*=0.9 福島広野町下北迫苗代替*=0.9 南相馬市原町区三島町=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 南相馬市鹿島区*=0.8 矢祭町東館館本*=0.8 飯野町飯野*=0.8 浅川町浅川*=0.8 須賀川市八幡町*=0.7 新地町谷地小屋*=0.7 猪苗代町千代田*=0.7 福島市松木町=0.6 福島市桜木町*=0.6 郡山市湖南町*=0.6 福島伊達市梁川町*=0.5 茨城県 2 日立市助川小学校*=1.9 日立市役所*=1.8 常陸大宮市野口*=1.8 常陸大宮市山方*=1.7 日立市十王町友部*=1.6 常陸太田市高柿町*=1.5 1 那珂市瓜連*=1.4 高萩市安良川*=1.3 鉾田市当間*=1.3 水戸市金町=1.2 常陸太田市町田町*=1.2 北茨城市磯原町*=1.2 高萩市本町*=1.1 大子町池田*=1.1 城里町石塚*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=1.0 城里町阿波山*=1.0 水戸市中央*=1.0 水戸市内原町*=0.9 常陸太田市町屋町=0.8 鉾田市汲上*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 小美玉市堅倉*=0.7 水戸市千波町*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 石岡市柿岡=0.5 笠間市下郷*=0.5 桜川市羽田*=0.5 常陸大宮市中富町=0.5 笠間市中央*=0.5 土浦市下高津*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=0.9 名取市増田*=0.7 蔵王町円田*=0.7 石巻市桃生町*=0.6 角田市角田*=0.6 山元町浅生原*=0.6 栃木県 1 茂木町小井戸*=1.4 那須烏山市中央=0.9	36° 56.4' N	141° 09.2' E	50km	M: 4.2
73	23 10 35	秋田県内陸南部 秋田県 1 湯沢市横堀*=1.1	38° 58.9' N	140° 34.6' E	3km	M: 2.7
74	24 18 06	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町請島*=0.9	28° 12.0' N	129° 29.8' E	35km	M: 3.3
75	25 04 04	釧路支庁中南部 北海道 1 釧路市音別町直別*=1.4 本別町北2丁目=0.7 豊頃町茂岩本町*=0.7 十勝大樹町生花*=0.6 本別町向陽町*=0.5	42° 58.6' N	143° 47.5' E	88km	M: 3.4
76	25 05 25	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町*=0.8 銚子市川口町=0.6	35° 25.5' N	141° 18.4' E	30km	M: 4.6
77	25 20 45	東京湾 千葉県 1 南房総市谷向*=0.6 東京都 1 東京千代田区大手町=0.8 神奈川県 1 川崎川崎区宮前町*=0.7	35° 04.6' N	139° 46.6' E	53km	M: 3.4
78	25 22 52	福島県浜通り 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=1.2 浅川町浅川*=1.2 浪江町幾世橋=1.0 葛尾村落合閣下*=0.9 田村市都路町*=0.9 白河市新白河*=0.8 玉川村小高*=0.8 小野町小野新町*=0.7 川内村下川内=0.7 檜葉町北田*=0.5 いわき市三和町=0.5 茨城県 1 大子町池田*=0.9 日立市助川小学校*=0.8 常陸大宮市野口*=0.8 栃木県 1 茂木町小井戸*=1.1	37° 00.5' N	140° 50.2' E	96km	M: 3.9
79	26 03 46	根室支庁北部 北海道 1 根室市厚床*=0.5	43° 40.9' N	144° 51.9' E	126km	M: 3.9
80	27 00 46	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市日方*=0.5	34° 10.6' N	135° 11.3' E	4km	M: 2.0

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
81	27 03 28	栃木県南部 茨城県 1 日立市助川小学校 *=0.5	36° 24.6' N	140° 00.7' E	111km	M: 3.6
82	27 07 16	奄美大島近海 鹿児島県 2 喜界町滝川=1.5	28° 22.6' N	130° 03.9' E	26km	M: 3.5
83	27 15 54	父島近海 東京都 3 小笠原村父島三日月山=2.9 小笠原村父島西町=2.6 2 小笠原村母島=2.2	26° 52.5' N	142° 44.3' E	38km	M: 6.6
84	28 17 35	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福北=1.4 宮古島市城辺福西 *=1.0	24° 50.1' N	125° 56.9' E	61km	M: 4.3
85	28 17 59	栃木県北部 栃木県 2 日光市足尾町松原 *=2.3 日光市足尾町中才 *=2.0 1 日光市中宮祠=1.3 鹿沼市今宮町 *=0.7 日光市湯元 *=0.6 日光市中鉢石町 *=0.6 群馬県 1 沼田市利根町 *=1.3	36° 38.8' N	139° 26.3' E	5km	M: 3.1
86	28 18 08	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志 *=0.9	33° 00.8' N	130° 52.8' E	12km	M: 2.5
87	29 03 02	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校 *=0.6	36° 54.7' N	141° 02.3' E	63km	M: 3.4

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 19 年（2007 年）2 月～平成 20 年（2008 年）2 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2008年 2月	58	24	5							87	
2008年 1月	59	30	6	1	1					97	26日 石川県能登地方（震度 5 弱） 静岡県西部（震度 3：1 回、震度 2：5 回、 震度 1：7 回）
2007年 12月	66	33	9	2						110	静岡県西部（震度 2：4 回、震度 1：7 回）
2007年 11月	63	22	5	2						92	
2007年 10月	89	41	9	4		1				144	1日 神奈川県西部（震度 5 強） 新島・神津島近海（震度 4：1 回、 震度 2：1 回、震度 1：9 回） 大分県中部（震度 3：3 回、震度 2：3 回、 震度 1：6 回）
2007年 9月	99	21	6							126	
2007年 8月	107	35	23	4	1					170	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震 （震度 3：1 回、震度 2：5 回、震度 1：13 回） 九十九里浜付近の地震活動 （震度 5 弱：1 回、震度 4：3 回、 震度 3：7 回、震度 2：7 回、震度 1：10 回）
2007年 7月	169	83	24	7			1	1		285	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震とその余震 （震度 6 強：1 回、震度 6 弱：1 回、 震度 4：5 回、震度 3：11 回、 震度 2：49 回、震度 1：71 回） 伊豆大島近海（震度 3：5 回、 震度 2：6 回、震度 1：25 回）
2007年 6月	126	47	13	9						195	大分県中部（震度 4：3 回、震度 3：6 回、 震度 2：16 回、震度 1：39 回） 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 （震度 4：1 回、震度 3：1 回、 震度 2：3 回、震度 1：6 回）
2007年 5月	92	37	10	3						142	平成19年(2007年)能登半島地震の余震 （震度 4：1 回、震度 2：9 回、 震度 1：20 回）
2007年 4月	135	47	23	7		1				213	15日 三重県中部（震度 5 強） 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 （震度 4：1 回、震度 3：7 回、 震度 2：20 回、震度 1：66 回）
2007年 3月	280	105	35	8	3			1		432	平成19年(2007年)能登半島地震とその余震 （震度 6 強：1 回、震度 5 弱：3 回、 震度 4：6 回、震度 3：25 回、 震度 2：74 回、震度 1：213 回）
2007年 2月	62	21	3	1						87	
2008年計	117	54	11	1	1					184	（平成20年 1 月～平成20年 2 月）
過去 1 年計	1343	525	168	47	5	2	1	2		2093	（平成19年 3 月～平成20年 2 月）

注) 「記事」欄の「*」は関連の地震で震度 1 以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、

または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成 9 (1997) 年 11 月 10 日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成 10 (1998) 年 6 月 15 日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10 月 15 日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、

宮崎県、鹿児島県

平成 11 (1999) 年 7 月 21 日 東京都、長野県

平成 12 (2000) 年 1 月 12 日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3 月 28 日

滋賀県

7 月 18 日

富山県、香川県、大分県

平成 13 (2001) 年 3 月 22 日

佐賀県

7 月 19 日

高知県

平成 14 (2002) 年 3 月 20 日

岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7 月 29 日

北海道、長崎県

平成 15 (2003) 年 3 月 10 日

沖縄県

平成 16 (2004) 年 5 月 26 日

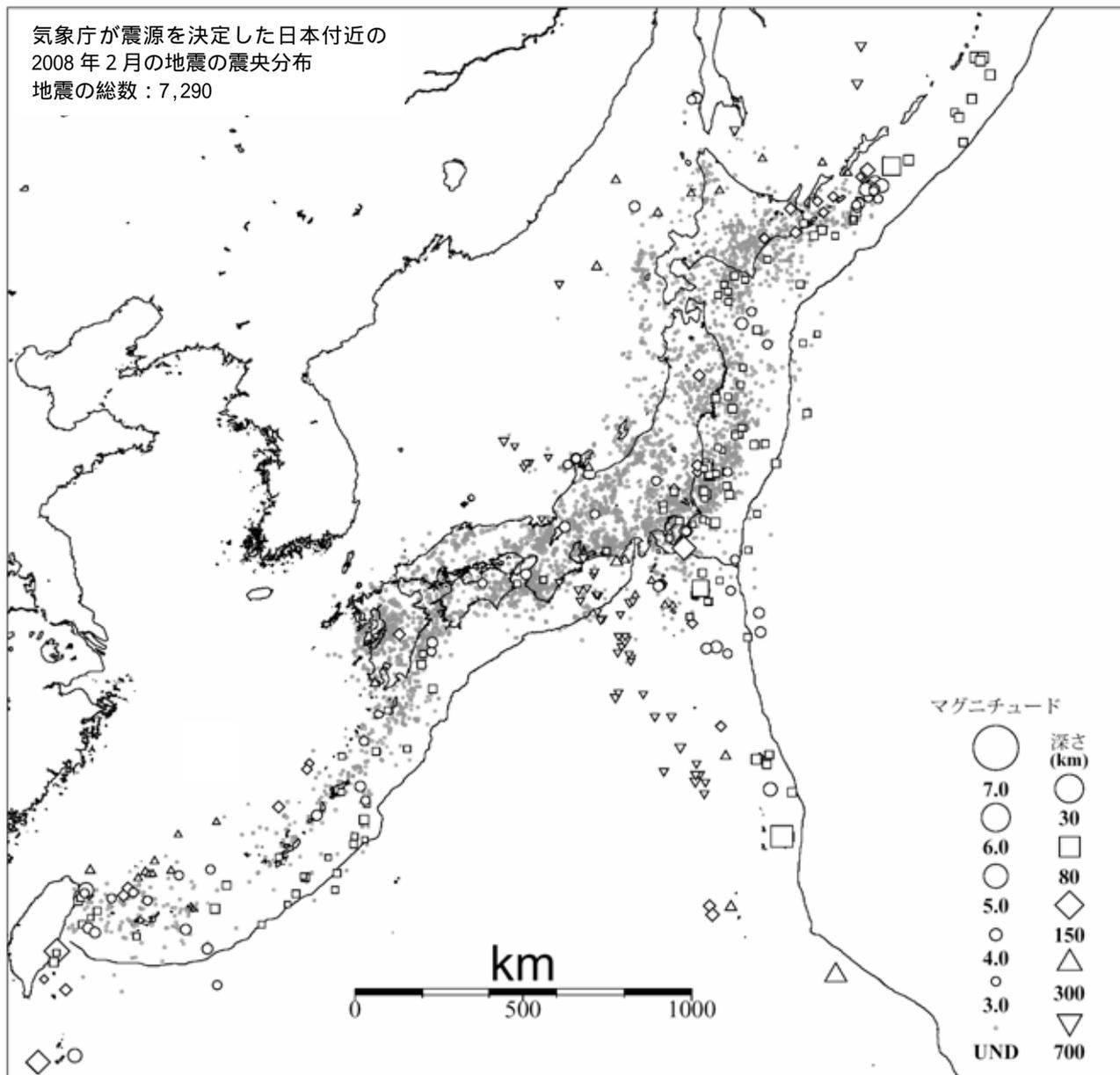
独立行政法人防災科学技術研究所

付表3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 <平成19年(2007年)2月~平成20年(2008年)2月>

	M3.0 ~ M3.9	M4.0 ~ M4.9	M5.0 ~ M5.9	M6.0 ~ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2008年2月	224	49	5	1		279	55	27日:父島近海(M6.6)
2008年1月	249	65	2			316	67	
2007年12月	247	58	13	1		319	72	7日:鳥島近海(M6.0)
2007年11月	254	62	6	1		323	69	26日:福島県沖(M6.0)
2007年10月	281	79	8	1	1	370	89	25日:千島列島東方(M6.2) 31日:マリアナ諸島(M7.1)
2007年9月	224	52	4	2	1	283	59	4日:千島列島(M6.3) 7日:台湾付近(M6.6) 28日:マリアナ諸島(M7.6)
2007年8月	404	104	18	3		529	125	1日:沖縄本島北西沖(M6.1) 2日:サハリン西方沖(M6.4) 7日:沖縄本島北西沖(M6.3)
2007年7月	348	76	14	3		441	93	9日:千島列島東方(M6.2) 16日:平成19年(2007年)新潟県中越沖地震(M6.8) 16日:京都府沖(M6.7) 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震活動 (M3.0~3.9:88回、M4.0~4.9:12回、 M5.0~5.9:1回)
2007年6月	269	70	12			351	82	
2007年5月	263	70	11			344	81	平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:20回、M4.0~4.9:3回)
2007年4月	373	110	33	3		519	146	20日:宮古島北西沖(M6.3,M6.7,M6.1) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:55回、M4.0~4.9:8回)
2007年3月	474	106	13	3		596	122	8日:鳥島近海(M6.0) 9日:日本海北部(M6.2) 25日:平成19年(2007年)能登半島地震(M6.9) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:231回、M4.0~4.9:29回、 M5.0~5.9:3回)
2007年2月	232	57	9	1		299	67	17日:十勝沖(M6.2)
2008年計	473	114	7	1	0	595	122	(平成20年1月~平成20年2月)
過去1年計	3610	901	139	18	2	4670	1060	(平成19年3月~平成20年2月)

注)日本及びその周辺:原則、北緯20~49度、東経120~154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

気象庁が震源を決定した日本付近の
2008年2月の地震の震央分布
地震の総数：7,290



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。